

補足 1 .WordPressプラグインのインストール

◆著作権について

○本教材は、著作権法で保護されている著作物です。

本教材の使用に関しては、以下の点にご注意ください。

○著作権者の許可を得ず、マニュアルの一部または全てをあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、CD、DVD、ビデオ、テープレコーダおよび電子メディア、インターネット等）

により複製および転載することを一切禁じます。

○使用許諾に関する注意事項

・ 第一条

本教材は直接購入していただいた方のみ使用を許可されています
(配布はできません)

・ 第二条

本教材に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。
作者の許可を得ず出版および電子メディアによる一般公開や転売はできません。

・ 第三条

あなたがこの契約に違反した場合、作者は何の通達もなく、この使用許諾契約を解除できるものとします

・ 第四条

あなたが本契約の第二条に違反した場合、あなたの本契約の解除、そして作者に対して法律に定められた違反金を支払っていただくことになります。

目次

◆ ワードプレスのプラグインとは.....	4
◆ プラグインの3つのインストール方法.....	6
● ワードプレスのプラグイン検索機能を使う.....	7
● プラグインのアップロード機能を使って直接アップロードする.....	10
● FTP ソフトを使ってプラグインを直接サーバーにインストールする.....	13
◆ プラグインのインストールをやってみよう.....	17
● まずはプラグイン検索でインストールできるもの.....	17
● 配布元サイトからダウンロードしてくるプラグインのインストール.....	22
◆ インストールしたプラグインの細かい設定と解説.....	29
● ワードプレスに標準装備されているプラグイン.....	29
★ スпамコメントから守ってくれる Akismet.....	30
★ ワードプレスの日本語化を支援する WP Multibyte Patch.....	35
● すでにインストールしていて特に設定のいらないプラグイン.....	36
● 便利に使うために設定が必要なプラグイン.....	38
AddQuicktag.....	38
All in One SEO Pack.....	46
WP FollowMe.....	47
Google Analyticator.....	49
.html on PAGES.....	56
Google XML Sitemaps と Dagon Design Sitemap Generator.....	60
Ktai Style.....	66
My Category Order.....	67
Similar Posts と Post Plugin Library.....	68
WordPress ping Optimizer	72
WP-PostViews.....	77
WP-DBManager.....	79
ワードプレスのデータベースのバックアップを自動で取ってくれるプラグイン。.....	79
WP Social Bookmarking Light.....	88
WP to Twitter.....	90
WP-Cumulus.....	98
◆ 終わりに.....	105

◆ ワードプレスのプラグインとは

ワードプレスブログの大きな特徴に、「プラグイン」という機能があります。

プラグインとは、「拡張機能」という意味で、
ワードプレスブログに装備させてやることで、機能を簡単に使えたり、
カッコいい表示をしてくれたり、サイトの動きを軽くしたり、など、
ワードプレスをより便利に使えるようになります。

といっても、ピンと来ない方も多いでしょうから、
少し、例を出してみますね。

普段の生活で、生活を便利にしてくれる家電製品を想像してみてください。
食洗機があればお皿洗いをしなくてよくなるし、
ルンバがあれば掃除機をかける手間がなくなります。

家庭で手軽に野菜ジュースが作れるジューサー。
いつでもスイッチひとつで淹れたてコーヒーが飲めるコーヒーメーカー。
私たちの暮らしには、たくさんの便利な家電があふれています。

まさに、プラグインも、導入することで手間を大幅に省いたり、
新しい機能を手軽に使えるようになるためのものなんです。

ただ、だからといってたくさんプラグインを入れれば入れるほど、
サイトはどんどん重たくなり、負荷がかかります。

家電製品だって、手当たりしだいに買ってきたって
全部を使いこなせるわけではないし、家電が増えれば増えるほど、
家が狭くなったりコンセントが足らなくなったりブレーカーが落ちたりしますね。

ですので、プラグインも、入れれば入れるほど良いわけではなく、
使わないものは削除するなどしながら、自分好みの機能を使っていきましょう。

ここでは、最初に装備しておきたいものを選びすぐって紹介します。

プラグイン自体は、さまざまな種類のものが星の数ほど出回っており、
プラグインにできないことはないと言われています。

ただ、ワードプレスのプラグインは、
「こんなの作ってみたからよかったら使ってみてね」と
ウデに覚えのある人が善意で作成し、配布しているものがほとんどです。

ですから、プロの手で、すごく便利に作られている秀逸なものもあれば、
見よう見まねで作ったかのようなちょっと使いづらいものもあります。

また、何年も配布するうち、「もう面倒だからやめめた」と
バージョンアップをやめてしまったり、配布そのものをやめてしまうケースもあります。

ワードプレスが大好きな有志が、めいめい勝手に開発して配布しているので
中には、プラグイン同士の相性が悪くてサイトに不具合が出たり、
似たような機能を持つプラグインがやたらたくさん出回ったりもします。

ここには紹介していないプラグインでも、
便利なものはたくさんありますので、ワードプレスを運用しながら
必要に応じて入れていくといいでしょう。

◆ プラグインの3つのインストール方法

プラグインのインストールは、大きく分けて3種類のインストール方法があります。

- ワードプレス内の公式プラグインを検索する
- ワードプレスのアップロード機能を使ってインストールする
- FTPソフトを使ってインストールする

この3種類を使い分けて、インストールしていくのですが、中には、ワードプレスをインストールしたらもれなく装備されているプラグインもあります。

これから、あなたには、

1. まずは、プラグインのインストールには3つの方法があることを知ろう
2. 3つの方法を使い分けながらプラグインをインストールしていこう
3. インストールしたプラグインの細かい設定をして行こう

大まかに分けると、このように、本書で解説していきます。

それではさっそく、プラグインの3つのインストール法の

- ワードプレス内の公式プラグインを検索する
- ワードプレスのアップロード機能を使ってインストールする
- FTPソフトを使ってインストールする

この3つの方法を順にみていきましょう。

個別具体的なプラグインのインストールは、後半でじっくり解説しますので今は、「そういう方法があるのね」という感じでかまいませんよ。

● ワードプレスのプラグイン検索機能を使う

ワードプレスの管理画面から直接プラグインを検索しインストールする方法です。

もっとも簡単な方法なのですが、
プラグインのすべてがこの方法でインストールできるわけではなく、
ワードプレス公式プラグインとして認められたプラグインに限られます。

まずは、管理画面から「プラグイン」⇒「新規追加」と進みます。
新規追加リンクは2箇所にあります但どちらでもかまいません。



The screenshot shows the WordPress dashboard with the 'Plugins' section selected. The sidebar on the left contains a menu with 'プラグイン' (Plugins) highlighted, and a sub-menu with '新規追加' (Add New) highlighted in red. The main content area shows the 'プラグイン' (Plugins) page with a header 'プラグイン' and a red box around '新規追加' (Add New). Below the header, there are filters for 'すべて (22)' (All (22)), '使用中 (19)' (Active (19)), '停止中 (3)' (Inactive (3)), and '利用可能な更新 (1)' (Available Updates (1)). A table lists installed plugins:

プラグイン	説明
<input type="checkbox"/> AddQuicktag 停止 編集 設定	HTMLエディターやビジュ バージョン 2.2.2 作成者
<input type="checkbox"/> Akismet 停止 編集 設定	Used by millions, Akismet even while you sleep. To and save your API key. バージョン 2.5.8 作成者
<input type="checkbox"/> All In One SEO Pack 停止 編集	Out-of-the-box SEO for バージョン 2.0.2 作成者
<input type="checkbox"/> brBrbr 停止 編集	Line feed is converted to バージョン 2.0 作成者

すると、画面が切り替わります。

- ダッシュボード
- All in One SEO
- 投稿
- メディア
- リンク
- 固定ページ
- コメント
- お問い合わせ
- 外観
- プラグイン 1**
 - インストール済みプラグイン
 - 新規追加
 - プラグイン編集

プラグインのインストール

検索 | アップロード | おすすめ | 人気 | 最新 | お気に入り

プラグインを使って WordPress の機能を拡張できます。[WordPress プラグインディレクトリ](#)

検索

人気のタグ

プラグインディレクトリで人気の高いタグからプラグインを見つけることもできます。

[admin](#)
[AJAX](#)
[buddypress](#)
[category](#)
[comments](#)
[content](#)
[email](#)

[media](#)
[page](#)
[pages](#)
[photo](#)
[photos](#)
[plugin](#)
[Post](#)
[posts](#)

[widgets](#)
[wordpress](#)
[youtube](#)

この検索窓に直接プラグインの名前を入れて検索します。

- ダッシュボード
- All in One SEO
- 投稿
- メディア
- リンク
- 固定ページ
- コメント
- お問い合わせ
- 外観
- プラグイン 1**
 - インストール済みプラグイン

プラグインのインストール

検索 | **検索結果** | アップロード | おすすめ | 人気 | 最新 | お気に入り

キーワード

プラグイン	バージョン	評価
WP-DBManager 説明 いまずぐインストール	2.63	★★★★☆
プラグイン	バージョン	評価

具体的に、どんなプラグインをインストールするかは後述します。

インストールが終わったら、「プラグインを有効化」をクリックして有効化しておきましょう。



もし、このときに、該当するプラグインの名前が出てこなかったときには、次の、直接アップロードする方法でインストールします。

● プラグインのアップロード機能を使って直接アップロードする

ワードプレスの公式プラグインとして認定されていない、有志が作ったプラグインなど、上記の方法ではインストールできないものがあります。

そんなときには、まず、プラグインの配布元サイトからプラグインのデータをダウンロードし、データファイルを直接ワードプレスにアップロードしていきます。

まずは、ワードプレスの管理画面から「プラグイン」⇒「新規追加」と進みます。新規追加は2箇所にありますけどどちらでもかまいません。



The screenshot shows the WordPress dashboard with the 'Plugins' section selected. The left sidebar contains a menu with 'プラグイン' (Plugins) highlighted, and a red box around the '新規追加' (Add New) link. The main content area shows the 'プラグイン' (Plugins) header with a red box around the '新規追加' button. Below the header, there are filters for 'すべて (22)', '使用中 (19)', '停止中 (3)', and '利用可能な更新 (1)'. A table lists installed plugins:

プラグイン	説明
<input type="checkbox"/> AddQuicktag 停止 編集 設定	HTMLエディターやビジュアルエディターでHTMLタグを簡単に挿入できるプラグイン。 バージョン 2.2.2 作成者: AddQuicktag
<input type="checkbox"/> Akismet 停止 編集 設定	Used by millions, Akismet even while you sleep. To and save your API key. バージョン 2.5.8 作成者: Automattic
<input type="checkbox"/> All In One SEO Pack 停止 編集	Out-of-the-box SEO for WordPress. バージョン 2.0.2 作成者: Michael Retzlaff
<input type="checkbox"/> brBrbr 停止 編集	Line feed is converted to paragraph tags. バージョン 2.0 作成者: brBrbr

次いで、図のように「アップロード」をクリックします。



プラグインのインストール

検索 | **アップロード** | おすすめ | 人気 | 最新 | お気に入り

プラグインを使って WordPress の機能を拡張できます。[WordPress プラグインデ](#)

検索

プラグインの検索

画面が切り替わりますので、下図のように「ファイルを選択」をクリックします。



プラグインのインストール

検索 | **アップロード** | おすすめ | 人気 | 最新 | お気に入り

ZIP 形式のプラグインをインストール

ZIP 形式のプラグインファイルをお持ちの場合、こちらからアップロードしてイ

ファイルを選択

選択されていません

いますぐインストール

すると、別のウィンドウが開き、パソコンのデータが表示されますので、該当するzipファイルをクリックして選択しましょう。



プラグインのインストール

検索 | **アップロード** | おすすめ | 人気 | 最新 | お気に入り

ZIP 形式のプラグインをインストール

ZIP 形式のプラグインファイルをお持ちの場合、こちらからアップロードしてインストー

ファイルを選択

google-an***cator.zip

いますぐインストール

「今すぐインストール」をクリックするとインストールが始まります。

インストールが終わったら、「プラグインを有効化」をクリックして有効化しておきましょう。



ワードプレスに直接アップロードするときには、

zipファイル形式のままでアップロードします。

基本的に、プラグインの配布元でも、zip形式のまま配布されています。

● FTPソフトを使ってプラグインを直接サーバーにインストールする

中には、どうしてもワードプレスから直接アップロードできないファイルや、後で日本語化パッチを入れたり、中のファイルを書き換えたりなど、直接、サーバーのプラグインデータを修正しないといけないものがあります。

このマニュアルでは、この方法でアップロードする手法は使いませんが、中には使わざるを得ないケースもあります。

FTPソフトの基本的な使い方は、ご購入者様サイトに**別冊FTPソフトの使い方マニュアル**を用意していますので、FTPソフトの設定方法はそちらをごらんください。

では、FTPソフトを実際に使って、プラグインのファイルをアップロードしていきましょう。

まずは、プラグインのデータ配布元サイトからデータをダウンロードします。具体的に、どこのサイトでダウンロードするかは後述します。

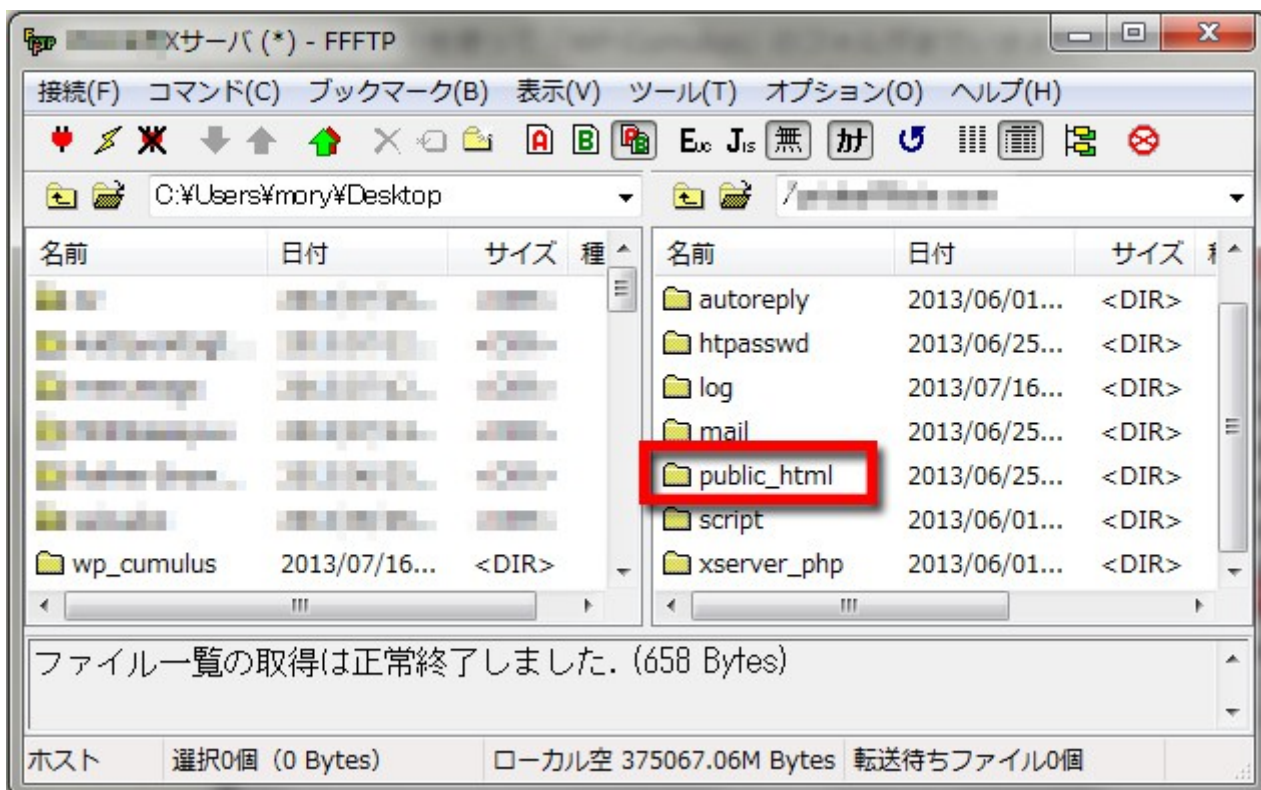
ダウンロードしたデータは、zipファイル形式ですのでこれをダブルクリックなどで**解凍**しておきましょう。



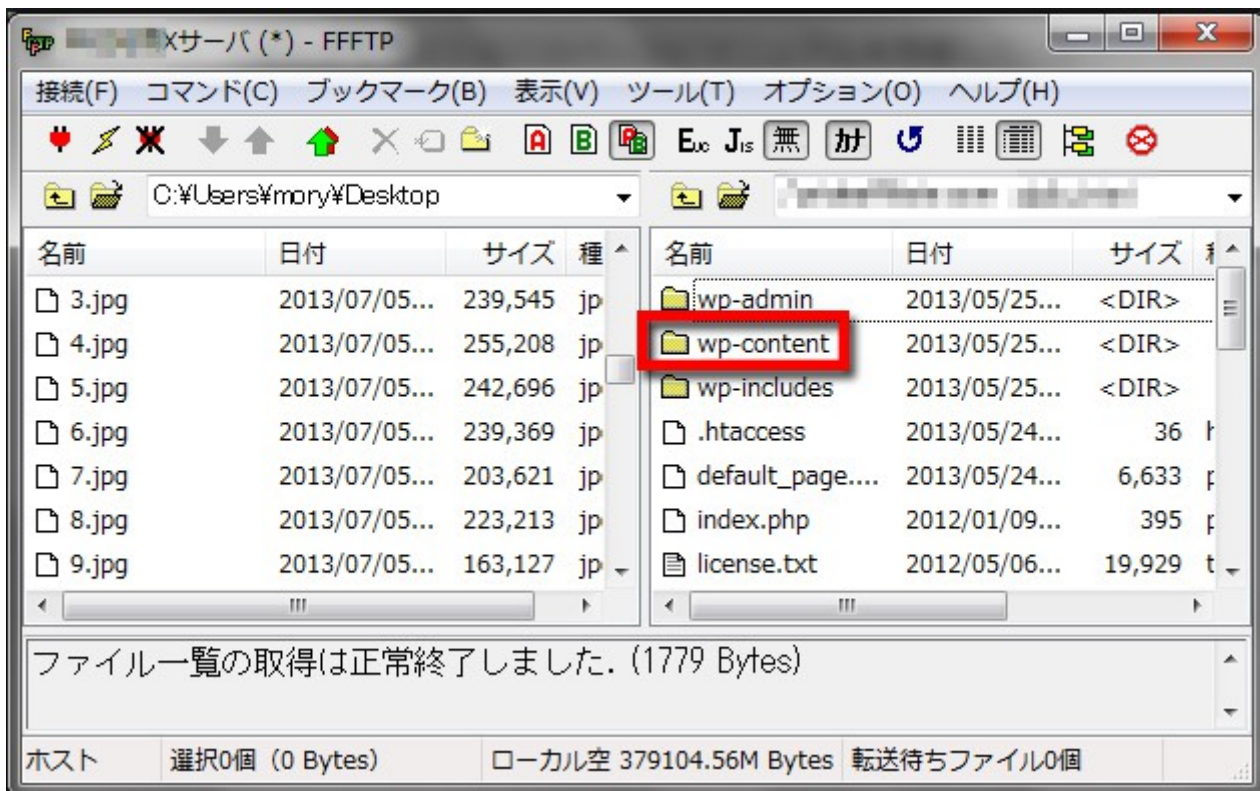
※ zipファイル形式のアイコンは、他の図柄のこともあります。

次いで、FFFTPでワードプレスのあるサーバーに接続しましょう。

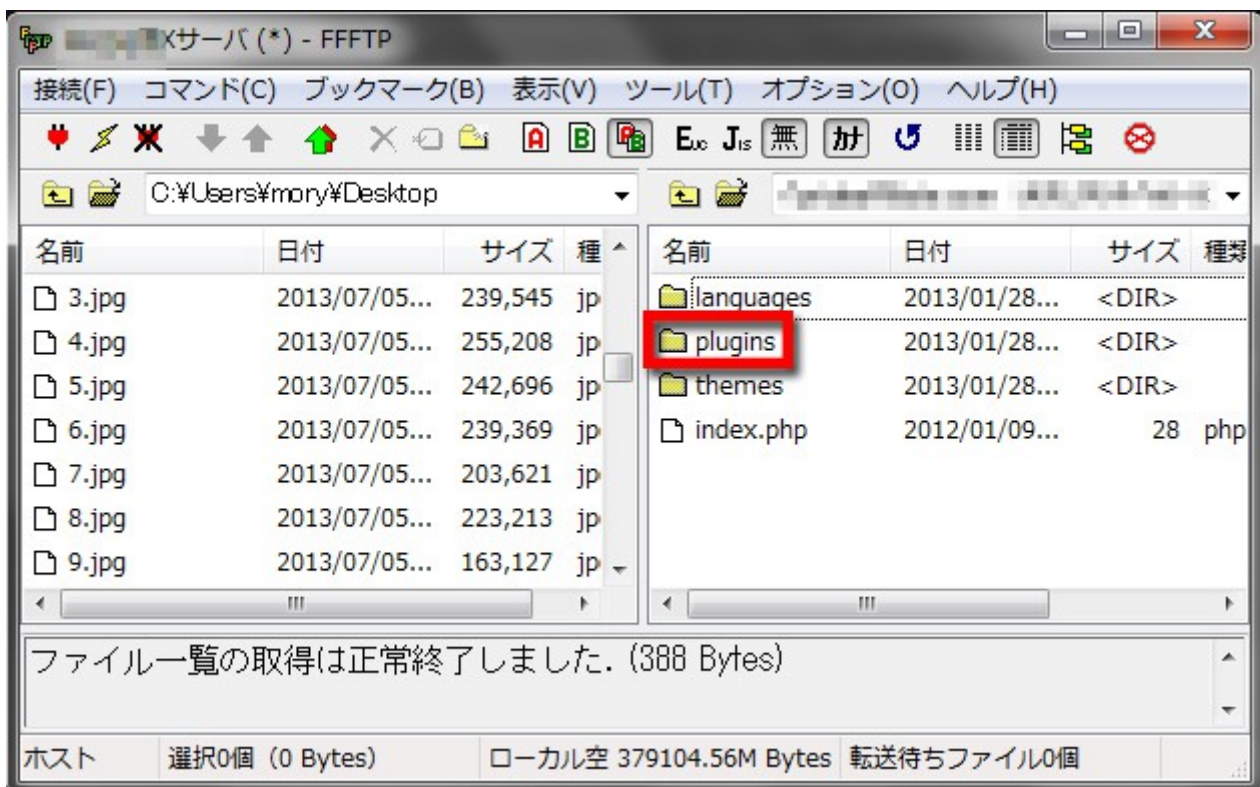
Xサーバーの場合、まずは、自分の独自ドメインを選択した後で
「public_html」をクリックします。

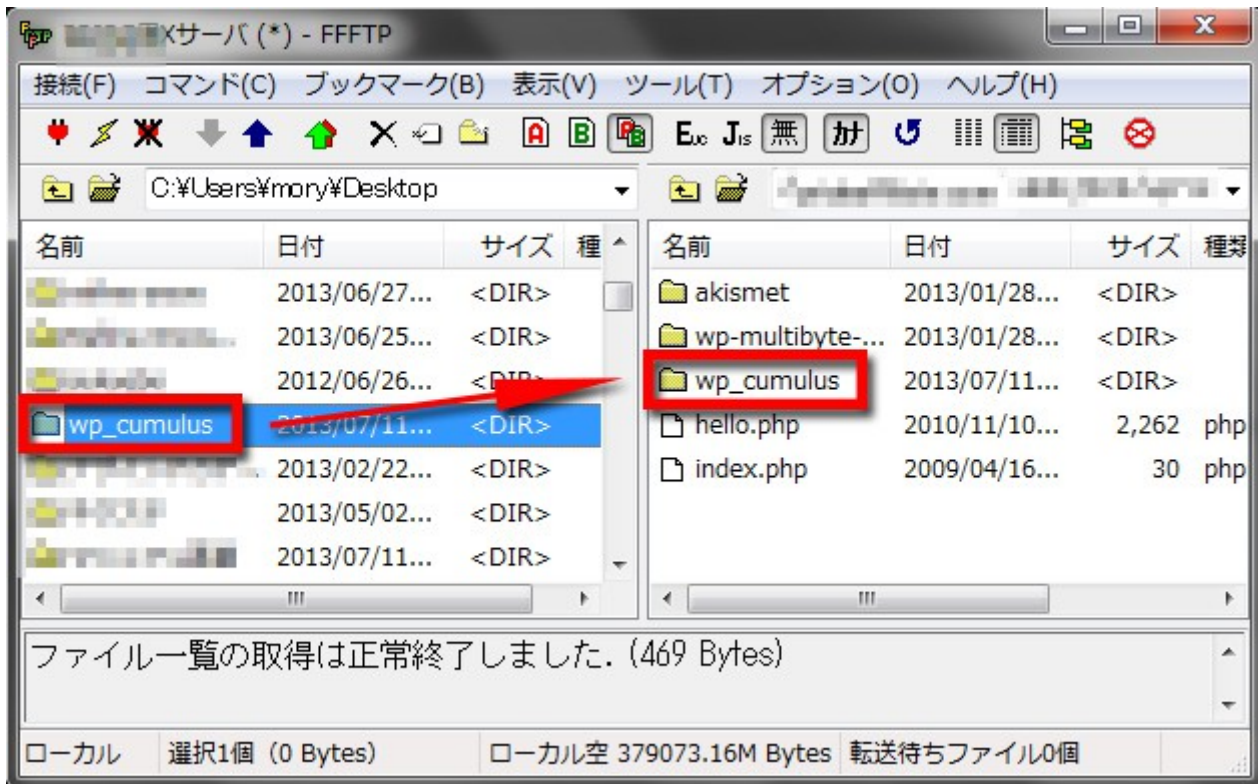


次に、「wp-content」をクリックします。



ここには、ワードプレスのプラグインやテンプレートなどの情報がありますので、プラグインをあらわす「plugins」をクリックしましょう。





そこに、先ほど解凍しておいたプラグインのフォルダを
ぎゅぎゅぎゅーっと動かしてアップロードします。

ワードプレスの画面に戻ると、アップロードしたプラグインが
新たに表示されていますので、「有効化」をクリックしておきましょう。



◆ プラグインのインストールをやってみよう

それでは、いよいよプラグインのインストールを実際にやってみましょう。

たくさん数がありますので、少しずつでも進めていきましょう。

● まずはプラグイン検索でインストールできるもの



The screenshot shows the WordPress dashboard's 'Plugins' section. On the left sidebar, the 'プラグイン' (Plugins) menu item is selected and highlighted in grey, with a small circle containing the number '1'. Below it are links for 'インストール済みプラグイン' (Installed plugins), '新規追加' (Add New), and 'プラグイン編集' (Plugin Editor). The main content area is titled 'プラグインのインストール' (Install Plugins) with a plug icon. Below the title are tabs for '検索' (Search), 'アップロード' (Upload), 'おすすめ' (Recommended), '人気' (Popular), '最新' (Latest), and 'お気に入り' (Favorites). A text block explains that plugins can be used to extend WordPress functionality, with a link to 'WordPress プラグインディレクトリ' (WordPress Plugin Directory). A search bar is present with the placeholder text 'プラグインの検索' (Search for plugins). Below the search bar, a section titled '人気のタグ' (Popular tags) states that plugins can be found by popular tags in the directory. A list of tags is displayed, including 'admin', 'AJAX', 'buddypress', 'category', 'comments', 'content', 'email', 'media', 'page', 'pages', 'photo', 'photos', 'plugin', 'Post', 'posts', 'widgets', 'wordpress', and 'youtube'.

ここでは、このプラグイン検索を使って簡単にインストールできるプラグインをまずは一気にインストールしていきましょう。

細かい設定はのちほど書きますので、
どんどんインストールして有効化して行って下さい。

まず、プラグインのひとつ「AddQuicktag」からインストールしていきましょう。
ワードプレスの管理画面から「プラグイン」⇒「新規追加」と進みます。



検索窓に、直接「AddQuicktag」と入力します。

このテキストからコピーして貼り付けてください。

貼り付けたら「プラグインの検索」をクリックします。

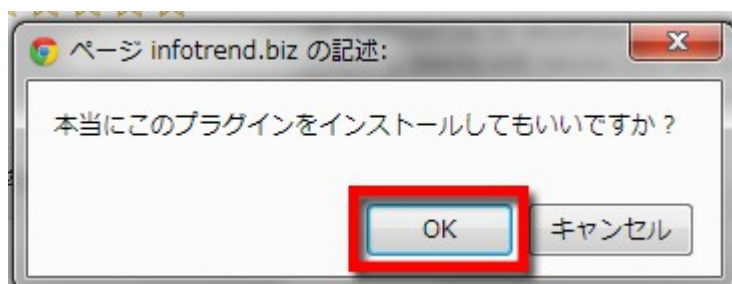
すると、このように「AddQuicktag」というプラグインが表示されます。

※必ずしも、検索した一番上に表示されるわけではないので注意しましょう。

「いますぐインストール」をクリックしましょう。

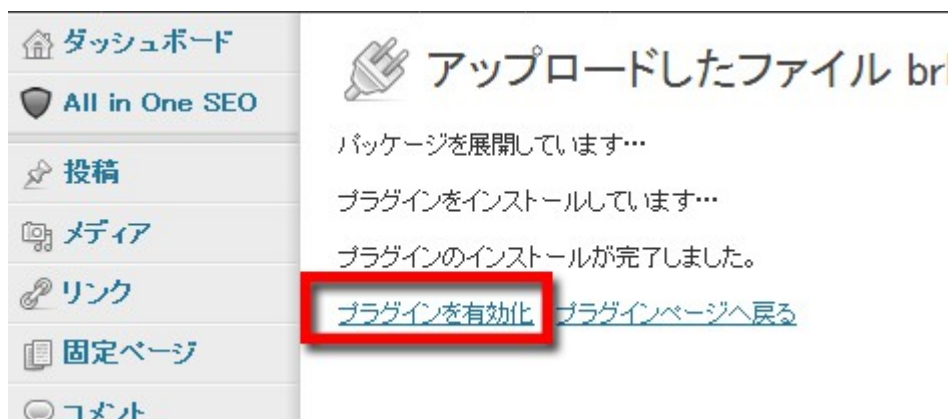


すると、「本当にこのプラグインをインストールしていいですか？」と聞いてくるので思わず腰が引けてしまいがちですが、かまわず「OK」をクリックしましょう。



OKを押すとインストールが始まります。

インストールが完了したら、「プラグインの有効化」をクリックしておきましょう。



ここまできたら、これと同じように、

「プラグイン」⇒「新規追加」⇒コピーで貼り付け⇒インストール⇒「有効化」

この作業を、下に挙げたプラグインすべてで行います。

必須、とあるものは、必ず入れておきましょう。

あると便利、とあるものは状況に応じてでかまいませんが、入れておくといいでしょう。

- AddQuicktag (必須) ※さっき例題としてインストールしています
- All in One SEO Pack (必須)
- WP FollowMe (あると便利)

- Google Analyticator (必須)
- Google XML Sitemaps (必須)
- .html on PAGES (場合によっては必須)
- Hot Linked Image Cacher (あると便利)
- Ktai Style (あると便利)
- WP Lightbox 2 (あると便利)
- Link Indication (あると便利)
- My Category Order (あると便利)
- No Self Pings (あると便利)
- Similar Posts (必須)
- WordPress ping Optimizer (必須)
- WP-PostViews (あると便利)
- WP-DBManager (あると便利)
- WP Social Bookmarking Light (あると便利)
- WP to Twitter (あると便利)
- WP-Cumulus (あると便利)

ここまで、ひたすらインストール作業をしていきましょう。

すると、わわっ！！

なんだか、いっぱいエラーみたいなものが出てきますね。

プラグイン 新規追加

表示オプション ヘルプ

Your backup folder MIGHT be visible to the public

To correct this issue, move this [redacted]

WP FollowMe plugin is not configured yet. You must enter your Twitter URL for it to work.

"Powered by" info is not displayed by default. [Enable it](#) to encourage further development.

プラグイン post-plugin-library/post-plugin-library.php はエラーにより停止しました。エラー: プラグインファイルが存在しません。

プラグインを有効化しました。

すべて (27) | 使用中 (21) | 停止中 (6) | 利用可能な更新 (1)

一括操作 適用

インストールされているプラグインを検索

27項目

プラグイン	説明
<input checked="" type="checkbox"/> html on PAGES 停止 編集	Adds html to pages. バージョン 1.1 作成者: IntroSites プラグインのサイトを表示
<input checked="" type="checkbox"/> AddQuicktag 停止 編集 設定	HTMLエディターやビジュアルリッチエディターで定型入力に使用できるクイックタグを簡単に追加・管理できます。 バージョン 2.2.2 作成者: Frank Bötter プラグインのサイトを表示

これは、インストールしたプラグインに、細かい設定をしてね、という注意書きです。
あとで設定してやれば直りますので今は気にしなくて大丈夫です。

ひとつひとつの細かい設定とともに、
インストールしたプラグインがどんな働きをするのかはあとで解説します。

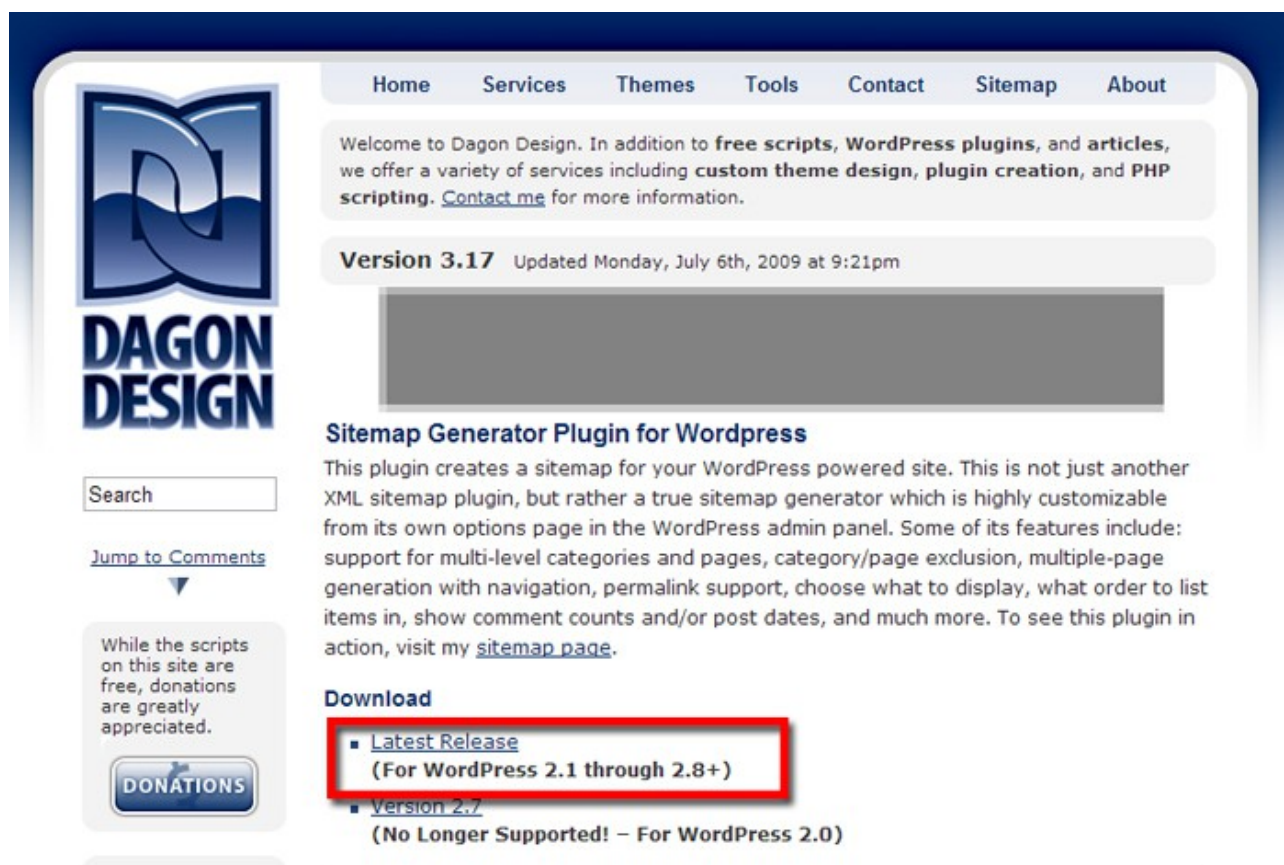
● 配布元サイトからダウンロードしてくるプラグインのインストール

次に、ワードプレスの検索ではインストールできないタイプのプラグインを3つほど、プラグインの配布元サイトからダウンロードしていきましょう。

- Dagon Design Sitemap Generator (必須)

まずは、このサイトにアクセスします。

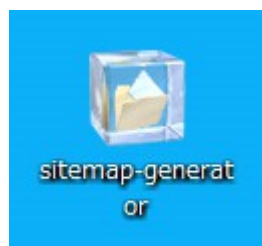
<http://www.dagondesign.com/articles/sitemap-generator-plugin-for-wordpress/>



図を参考に、リンクをクリックしてダウンロードしてください。

ダウンロードした zip ファイルは、**解凍しないで zip ファイルのまま、**

自分で分かりやすいところにおいておきます。



※ この zip ファイルのアイコンは別のデザインの場合もあります。

ついで、ワードプレスの管理画面から、

「プラグイン」⇒「新規追加」とすすみましょう。

ダッシュボード
All in One SEO
投稿
メディア
リンク
固定ページ
コメント
お問い合わせ
外観
プラグイン 1

インストール済みプラグイン
新規追加
プラグイン編集
Akismet

プラグイン 新規追加

すべて (22) | 使用中 (19) | 停止中 (3) | 利用可能な更新 (1)

一括操作 ▼ 適用

プラグイン	説明
<input type="checkbox"/> AddQuicktag 停止 編集 設定	HTMLエディターやビジュアルエディターで、HTMLタグを簡単に挿入できるプラグイン。 バージョン 2.2.2 作成者: AddQuicktag
<input type="checkbox"/> Akismet 停止 編集 設定	Used by millions, Akismet even while you sleep. To protect your site from spam, you need to save your API key. バージョン 2.5.8 作成者: Automattic
<input type="checkbox"/> All In One SEO Pack 停止 編集	Out-of-the-box SEO for WordPress. No programming or design background necessary. バージョン 2.0.2 作成者: Michael Retzlaff
<input type="checkbox"/> brBrbr 停止 編集	Line feed is converted to a space character. バージョン 2.0 作成者: brBrbr

まずは「新規追加」をクリック。2箇所ありますがどちらでも OK です。

で、「アップロード」をクリックします。



プラグインのインストール

検索 | **アップロード** | おすすめ | 人気 | 最新 | お気に入り

プラグインを使って WordPress の機能を拡張できます。[WordPress プラグインデ](#)

検索

プラグインの検索

すると、下図のような画面になりますので

「ファイルを選択」をクリックします。



プラグインのインストール

検索 | **アップロード** | おすすめ | 人気 | 最新 | お気に入り

ZIP 形式のプラグインをインストール

ZIP 形式のプラグインファイルをお持ちの場合、こちらからアップロードしてイ

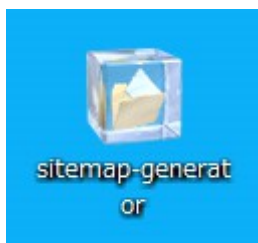
ファイルを選択

選択されていません

いますぐインストール

別のウィンドウが開いてパソコンのデータが表示されますので

先ほどダウンロードした zip ファイルを選択しましょう。



この時、zip ファイル以外のファイル形式ではインストールできませんので
注意してくださいね。



このように、「いますぐインストール」をクリックすると、
インストールが始まります。
インストール完了後は、



このように、「プラグインを有効化」しておきます。
これと同じ要領で、あと2つ、プラグインをインストールしましょう。

- BrBrbr (必須)

このサイトにアクセスしましょう。

<http://camcam.info/wordpress/732>



図を参考にプラグインファイルをダウンロードします。

- 2.9以下では使えません。
- 2.9以前の方は3.0以上にアップグレードしてからお試しください。

WordPressのバージョンにご注意。

3.0以降対応

[ダウンロード brBrbr300](#)

////////使用方法////////

- 1.ダウンロードして解凍して出来たフォルダの中の
brBrbr.php をpluginフォルダに入れる。
- 2.ダッシュボードで有効にする。

ダウンロードした zip ファイルをワードプレスにインストールしましょう。

そして、実は、もうひとつ、同じように作業を必要とするプラグインがあります。

先ほど、プラグイン検索機能を使ってインストールした

「Similar Posts」というプラグインを稼働させるために、

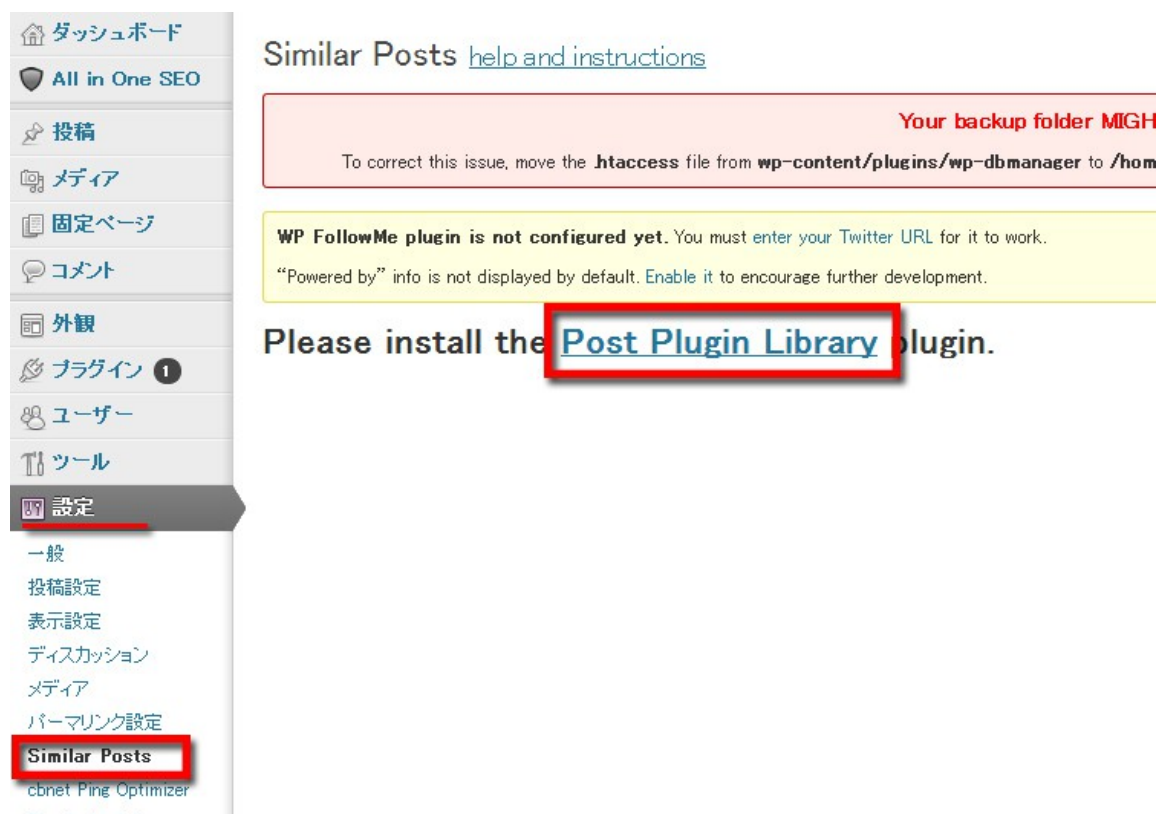
「Post Plugin Library」という別のプラグインが必要になります。 **(必須)**

この作業も、ついでにやっておきましょう。

まずは、ワードプレスの管理画面から、

「設定」というところを開いてください。

下図を参考に、「Similar Posts」というコーナーを探しましょう。



すると、でがでかと「Post Plugin Library」というリンクが表示されていますので
これをクリックしてください。

すぐに zip ファイルがダウンロードされます。

あとは、ここまでの手順同様、アップロードして有効化しましょう。

◆ インストールしたプラグインの細かい設定と解説

ここまで、たくさんのプラグインをインストールしてきました。

これから、そのひとつずつ、どんな機能を持ち、どう使うのかを見ていきましょう。

プラグインは、ただインストールしただけでは働きません。

「有効化」することではじめて機能し始めます。

ただ、中には「有効化」しただけでは働かないプラグインもあり、

より細かい設定をしてやることで機能し始めるものもあります。

それらを見ていきましょう。

● ワードプレスに標準装備されているプラグイン

ワードプレスには、最初からいくつかのプラグインが標準装備されています。

その中から、有効化しておいてほしい2つのプラグインをまず有効化しましょう。

- Akismet (必須)
- WP Multibyte Patch (必須)

どちらも、図のように、「有効化」をクリックしておきます。



まずはスパムコメントからブログを守ってくれる「Akismet」の設定からいきましょう。

★ スпамコメントから守ってくれる Akismet

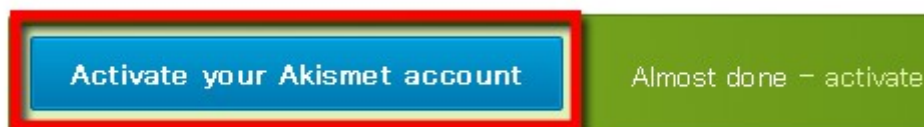
Akismet（アキスメット）は、スパムコメントからブログを守るプラグインです。

海外などから、ツールを使って手当たりしだいにコメントを書き込んでくる悪質な攻撃を受けることがあり、ひどいときには一晩で 1000 件以上のスパムコメントを書き込まれたりします。

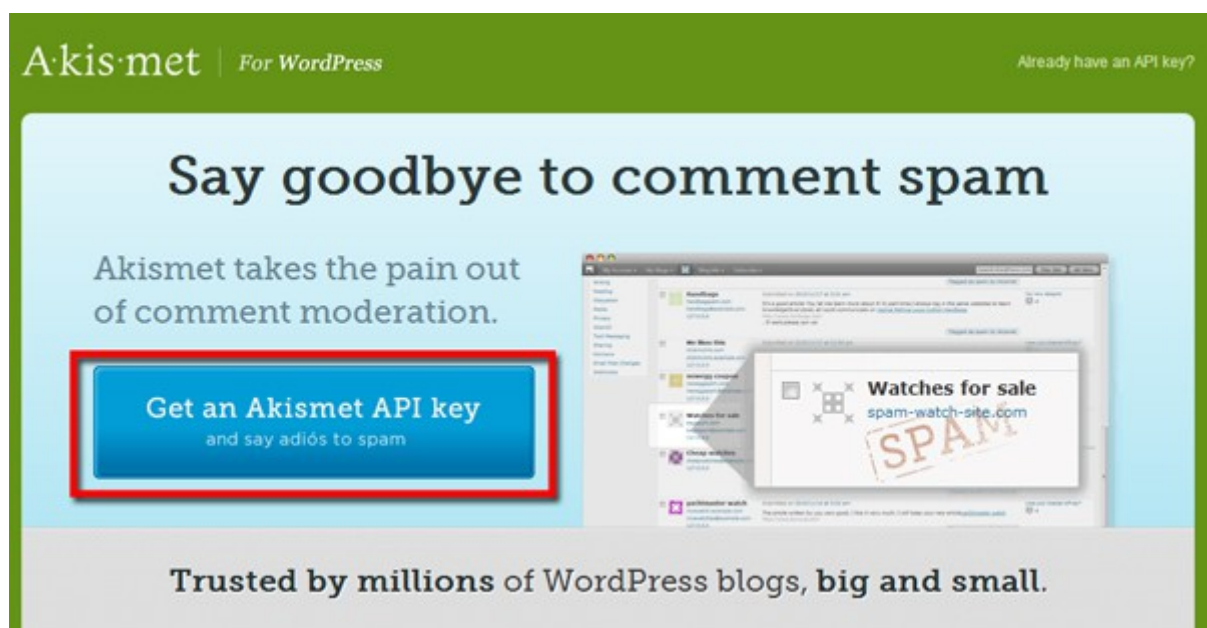
設定は無料ですぐにできますので必ず設定しておきましょう。

Akismet を有効化すると、図のように大きく帯が表示されます。

赤い枠で囲ったボタンをクリックしましょう。



すると、画面が切り替わりますので図を参考にクリックします。



次の画面で、メールアドレス、任意のID、パスワードを入力します。

Signing up for **Akismet** with WordPress.com

[I already have a WordPress.com account!](#)

Not sure what this is all about?
[We can help clear that up for you.](#)

E-mail Address	<input type="text" value="example@example.com"/> ✓	Triple-check your email. It's the only way we can contact you.
Username	<input type="text" value="example"/> ✓	This is what we'll call you. It needs to be a least four letters or numbers.
Password	<input type="password" value="*****"/>	Don't be afraid to use symbols like !"£\$%^&() along with numbers and letters.

You agree to the [fascinating terms of service](#) by submitting this form.

Sign up →

「Username」は、メールアドレスから自動的に割り当てられますが、任意で別の名前にしてもかまいません。

「Password」は、必ず、**数字とアルファベットを混ぜたもの**にしてください。

これらの「Username」と「Password」は**大事にメモ**しておきましょう。

入力次項を入力すると「Sign up →」というボタンがクリックできるようになりますのでクリックしましょう。

さらに画面が切り替わりますのでサイトのURLを記載し、一番右のボタンをクリックしましょう。

Akismet API key signup

Enter the URL of the site you'll use Akismet on, then choose a plan:

Enterprise

\$50/mo

Multiple Site Access

For companies with multiple low traffic sites

SIGN UP

Pro

\$5/mo

Single-site access

For small non-personal sites or blogs

SIGN UP

Personal

\$0-\$120/yr

Personal Blogs

For non-business personal sites or blogs

SIGN UP

次に、切り替わった画面の中の、赤い枠で囲った部分を見てください。

PAYMENT METHOD

☒ VISA ☐ MasterCard ☐ AMEX ☐ DISCOVER ☐ PayPal

CONTACT INFO

First name Last name

PAYMENT DETAILS

Card number Security code (7)

You selected:
Personal blog access [\(change plan\)](#)

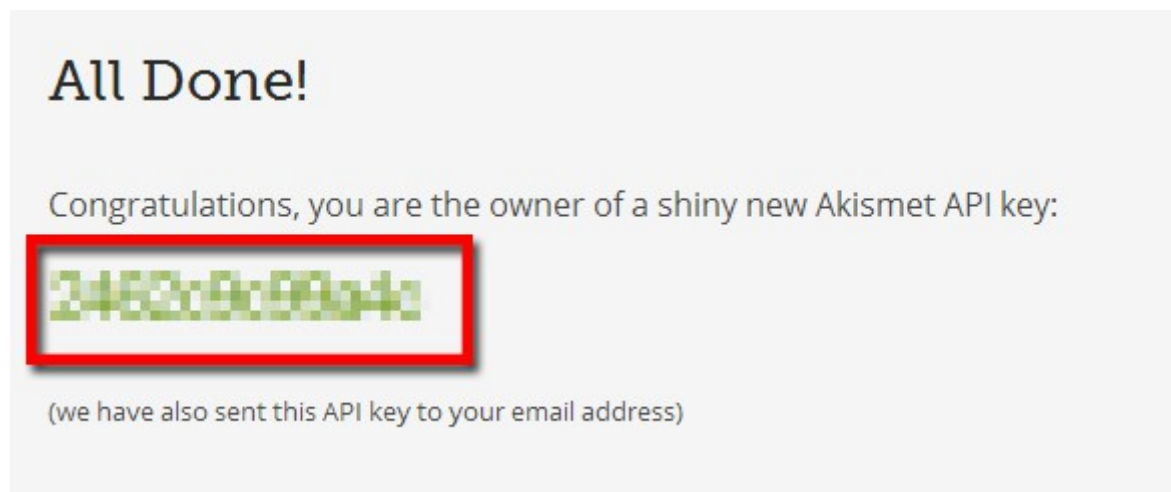
WHAT IS AKISMET WORTH TO YOU?

Yearly contribution: \$36

このままだと、有料プランになってしまうので
赤枠の部分を左にスライドさせて「0\$」にします。

すると、名前だけ入力するように欄が変わるので名前を入力しましょう。

名前を入力したら「CONTINUE」をクリックします。



これで、APIキーというキーが取得できました。
このAPIキーは大切にコピーしておいてください。
これからすぐに使います。

次いで、ワードプレスに戻りましょう。

管理画面の「プラグイン」のところに、「Aksmet」というコーナーができていますので
その中にある「キーをすでに持っています」をクリックします。



次いで、APIキー入力画面でAPIキーを入力しましょう。
「変更を保存」をクリックすればAkismet設定は完了です。



ただ、ついでにもうひとつ設定しておいてほしいのが、

ダッシュボード
All in One SEO
投稿
メディア
固定ページ
コメント
外観
プラグイン 1
インストール済みプラグイン
新規追加
プラグイン編集
Akismet
ユーザー
ツール

Akismet 統計

Your backup folder M

To correct this issue, move the `htaccess` file from `wp-content/plugins/wp-dbmanager` to /

WP FollowMe plugin is not configured yet. You must enter your Twitter URL for it to work.
“Powered by” info is not displayed by default. [Enable it](#) to encourage further development.

Akismet API キー

Valid

有効な Akismet API キーを入力してください。API キーは[こちら](#)か

設定

☒ 1ヶ月以上前の投稿につけられたスパムを自動削除する
☐ コメントの投稿者の脇に承認したコメントの数を表示する。

変更を保存

この、「1ヶ月以上前の投稿につけられたスパムを自動削除する」にチェックを入れて、もう一度保存をしておきましょう。

スパムコメントを自動的に削除してくれるようになりますので
サイトが軽くなります。

これで「Akismet」の設定は完了です。

ついで、もうひとつのプラグイン「WP Multibyte Patch」も有効化します。

★ ワードプレスの日本語化を支援する WP Multibyte Patch

WP Multibyte Patch は、有効化さえしてしまえば、

特段何か設定をしなくても機能し始めます。

忘れないように有効化しておきましょう。

● すでにインストールしていて特に設定のいないプラグイン

インストールして有効化しただけで働き始めるプラグインが、
どんな機能を持っているのかを見ておきましょう。

これらはすでにここまでの作業の中でインストールしており、
特に何か設定しなくてもすでに稼働してくれているプラグインです。

- Hot Linked Image Cacher

使っている画像の直リンクを防いでくれるプラグイン。

画像 URL を直にコピーされるのを防ぐことでサーバーへの負荷を軽くします。

- Link Indication

ブログに貼った外部サイトへのリンクを別ウィンドウにしてくれるプラグイン。

記事を読む途中でリンクをクリックし、よそのサイトに行ってしまった読者さんは
なかなか帰ってきてくれないので最初から別窓で誘導できると便利。

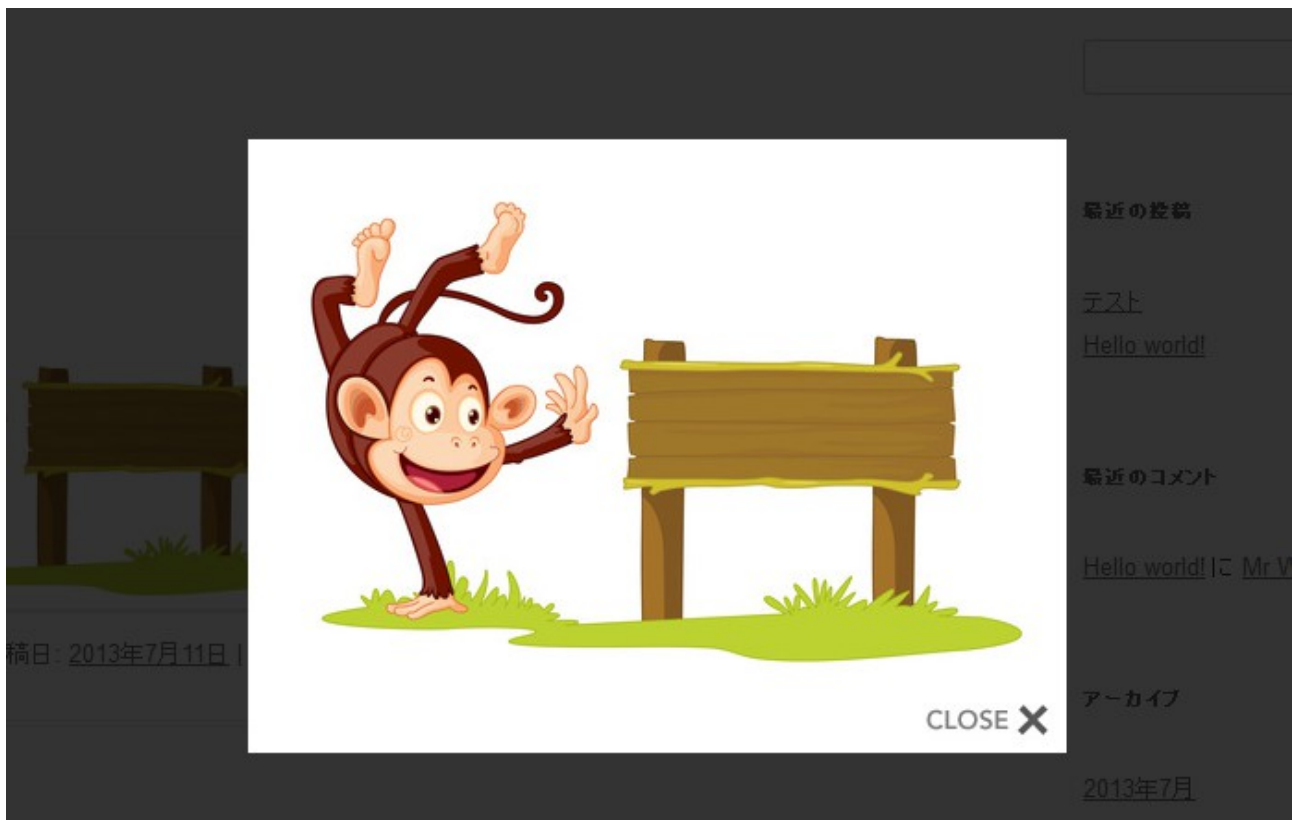
- No Self Pings

自分で自分のブログ記事内にリンクを貼った際にいちいちピンバックをつけるのを
防いでくれるプラグイン。コメント欄がすっきりします。

- WP Lightbox 2

ブログに貼った画像をクリックするとこんな感じで表示してくれるプラグイン。

ちょっとカッコいい…



- BrBrbr

ワードプレスの初期設定で2行以上の改行ができないのを
いくらでも改行できるようにしてくれるプラグイン。
大きく幅を取りたいときに自由に改行ができるようになります。

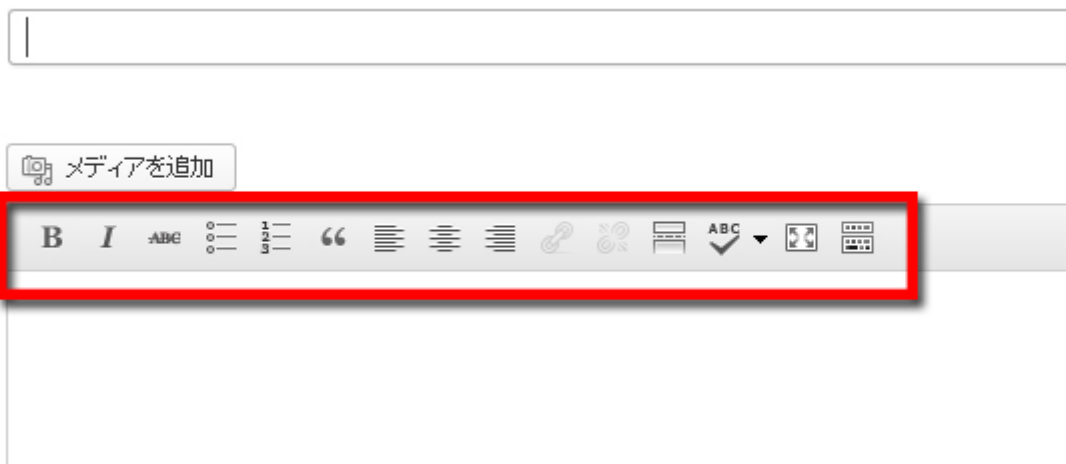
これらはすでにインストールし有効化しているプラグインです。
特に設定などもいりませんので、このままでOKです。

● 便利に使うために設定が必要なプラグイン

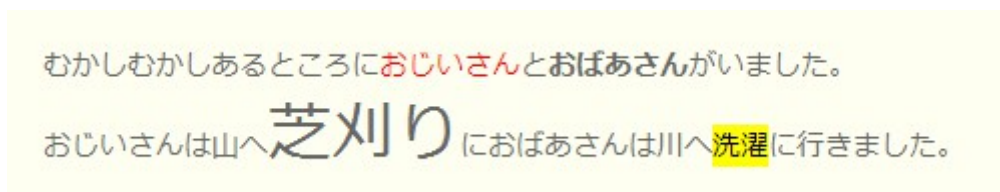
AddQuicktag

ワードプレスで記事を書くときに行う文字装飾を、
スムーズに行うためのプラグイン。

ワードプレスの初期設定では、このように、文字装飾がほとんどないため、
自分で HTML タグを記載して装飾しなければいけません。



例えば、このような文章を書き、文字装飾をしようと思ったら、



むかしむかしあるところにおじいさんとおばあさんがいました。

おじいさんは山へ芝刈りにおばあさんは川へ<font

color="#000000" style=" background-color:#ffff00">洗濯に行きました。

こんな感じで、

- **〜〜〜** 文字を赤くする装飾タグ
- **〜〜〜** 文字を太くする装飾タグ

などなど、タグを使って装飾しなければいけません。

これらのタグはたくさんの種類があり、

いちいち、装飾したいなと思うたびに、自分でタグを調べて書かないといけません。

考えただけで心が折れそうです。

そこで、よく使うタグをあらかじめ登録しておくことができるのが

「AddQuicktag」というプラグインです。

実際、登録していくと、こんな風に、たくさんの装飾タグが表示され、

クリックひとつで自由に文字装飾ができるようになります。



まあ、ここまで大量に登録しなくてもいいのですが^^;

よく使うタグを登録しておけば随分作業効率が上がりますので登録していきましょう。

では、さっそく手順を見ていきます。

ワードプレスの管理画面から「設定」⇒「AddQuicktag」と進みましょう。



画面の枠の中に、登録したい装飾タグを記載します。

クイックタグの追加と削除

ボタン名*	ラベル名	開始タグ*	終了タグ(s)
赤文字	赤文字		

ボタン名・ラベル名は自分で分かりやすい名前をつけましょう。

「開始タグ」と「終了タグ」を記載します。

※装飾タグは、装飾したい文字の前後にタグを挟んで使います。

例) ここに文字を入れる

このようなタグの場合、このように赤い文字の部分がそれぞれ開始タグと終了タグです。

「開始タグ」

ここに文字を入れる

「終了タグ」

ここに文字を入れる

タグを入力し終わったら、下図のように一番右のチェックを入れ、

設定を保存します。

AddQuicktag

Your backup folder MIGHT be visible to the public

To correct this issue, move the htaccess file from ...

WP FollowMe plugin is not configured yet. You must enter your Twitter URL for it to work.

"Powered by" info is not displayed by default. Enable it to encourage further development.

クイックタグの追加と削除

ボタン名*	ラベル名	開始タグ*	終了タグ(s)	アクセスキー	順番	ビジュアルエディター	post	page	comment	edit-comments	
赤字	赤字					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

クイックタグを追加・編集するには以下の項目を埋めるか変更してください。* が付いた項目は必須です。タグを削除するには全ての項目を空にしてください。

変更を保存

このようなタグは、インターネットで検索すればたくさん見つかります。

ただ、いちいち調べるのが面倒だという方のために、

私の方で最低限使うであろうタグを用意しました。

このファイルをアップロードすればすぐですので

必要な方は利用してみてください。

まずは、この URL をクリックして zip ファイルをダウンロードしましょう。

<http://morigin.net/dl/AddQuicktagtext.zip>

ダウンロードした zip ファイルは、**必ず解凍しておいてください。**

フォルダの中には、「addquicktag.2013-07-12（日付は変わることもあります）」

という、XML ファイルが入っています。

この XML ファイルだけを使います。

ワードプレスの「AddQuicktag」画面に戻りましょう。

画面の一番下の方に、「インポート」という欄があります。

エクスポート

下のボタンを押すとプラグインの設定を保存した XML ファイルをあなたのコンピューターにダウンロードすることができます。

この XML ファイルにはプラグインの設定(クイックタグのリストなど)が保存されています。

設定ファイルの保存を行うと、プラグインのインポート機能が使用できます。他の WordPress サイトにこのサイトのクイックタグ

エクスポートファイルのダウンロード »

インポート

このプラグインを他のサイトで利用の場合、その設定をインポートできます。インポートするファイルを選択してください。

ファイルを選択 選択されていません

ファイルのアップロード・インポート »

「ファイルを選択」をクリックします。

先ほどダウンロードした「addquicktag.2013-07-12（日付は変わることもあります）」というXMLファイルを選択し、「ファイルのアップロード・インポート」をクリック。

すると、このように、私が設定した装飾タグが登録されます。

クイックタグの追加と削除

ボタン名*	ラベル名	開始タグ*	終了タグ(s)
<input type="text" value="+1.5"/>	<input type="text" value="+1.5"/>	<input +1.5">"="" type="text" value="	<input type="text" value=""/>
<input type="text" value="+2"/>	<input type="text" value="+2"/>	<input +2">"="" type="text" value="	<input type="text" value=""/>
<input type="text" value="+3"/>	<input type="text" value="+3"/>	<input +3">"="" type="text" value="	<input type="text" value=""/>
<input type="text" value="+4"/>	<input type="text" value="+4"/>	<input +4">"="" type="text" value="	<input type="text" value=""/>
<input type="text" value="h3"/>	<input type="text" value="h3見出し"/>	<input type="text" value="<h3>"/>	<input type="text" value="</h3>"/>
<input type="text" value="h4"/>	<input type="text" value="h4見出し"/>	<input type="text" value="<h4>"/>	<input type="text" value="</h4>"/>

このように、最低限使うであろうタグを取り込んでくれます。

ただ、このままではまだ使うことができませんので、

一番右側のチェックマークをクリックしていきましょう。

ビジュアルエディター	post	page	comment	edit-comment	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

ここにチェックを入れれば、他の欄にもチェックが入ります。

すべてにチェックを入れたら、設定を保存します。

黄色帯	黄色帯	<font color="#000000"
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

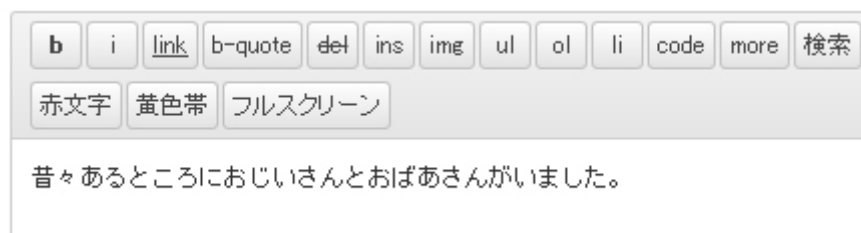
クイックタグを追加・編集するには以下の項目を埋めるか変更してください。* が

これで、記事を書くときのエディタに、タグが表示されているはずですので確認してみてください。

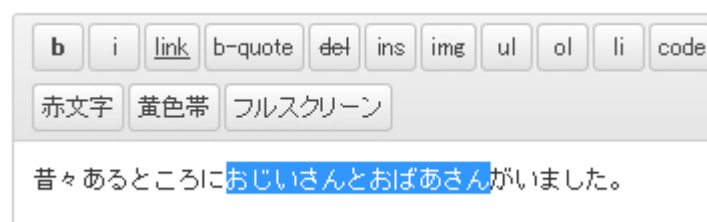


ビジュアルリッチエディタを使っている場合は、
図のように「テキスト」に切り替えれば表示されます。

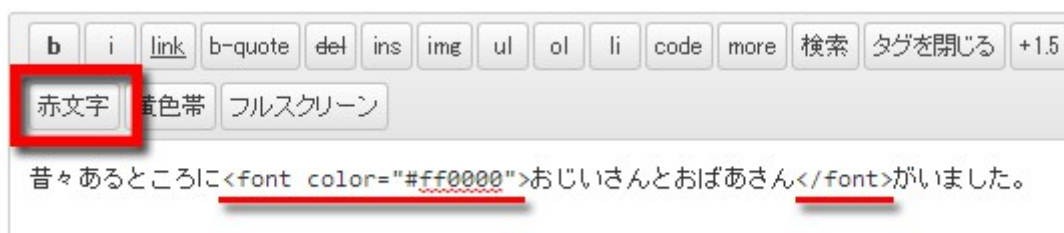
こういったボタンの使い方は、まず、最初に文章を書きます。



装飾した部分をマウスなどでドラッグします。



装飾したいボタンをクリックすればタグが挿入されます。



これで OK です。

All in One SEO Pack

SEO 対策のためのプラグイン「All in One SEO Pack」。

いろいろとカスタマイズできるのですが、ここでは、ごくシンプルに最初の設定だけ済ませておきましょう。



管理画面から「All in One SEO Pack」の「General Settings」をクリックします。



「Canonical URLs:」にチェックが入っていることを確認し、
「利用」にチェックを入れます。

次に、『Home Page Settings』項目の「ホームタイトル:」

「ホーム詳細(Description):」「ホームキーワード (コンマで区切る):」を入力します。



The screenshot shows the 'Home Page Settings' form. A red rectangular border highlights the three main input fields: 'ホームタイトル:', 'ホーム詳細(Description):', and 'ホームキーワード(コンマで区切る):'. The 'ホームタイトル:' field contains the text 'ネットビジネスでお金を稼ぐ思考と戦術'. The 'ホーム詳細(Description):' field contains a longer paragraph of Japanese text. The 'ホームキーワード(コンマで区切る):' field contains the text 'ネットビジネス, お金, 稼ぐ, 思考, 戦術'. Below the form, there is a note: 'Enter a comma separated list of your most important keywords for your site that will be written as Meta Keywords on'. There are also links for documentation on each setting.

ホームタイトル…ブログのタイトルを入れておきます（別名でも OK）

ホーム詳細…ブログの簡単な説明文を入れておきます。

ホームキーワード…ブログ全体を現すキーワードを入れておきます（5 つ程度）

引き続き、画面下部にある『Noindex Settings』項目の

「カテゴリーを noindex にする:」

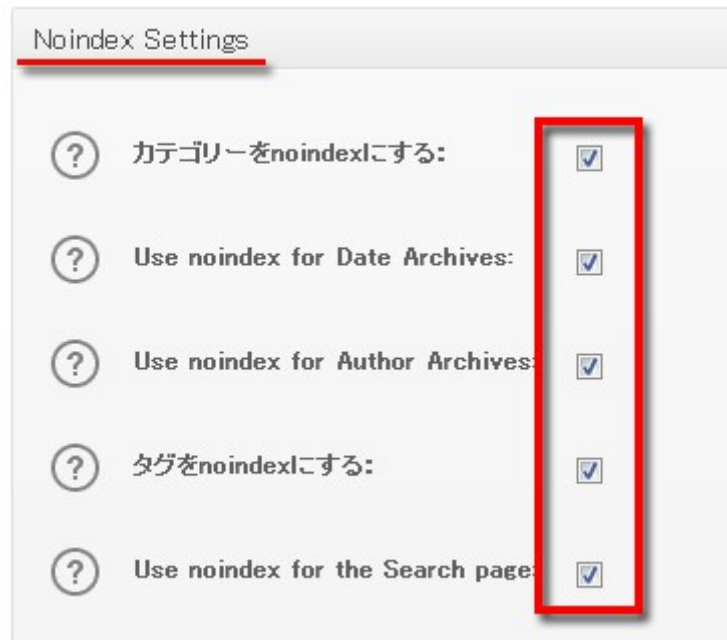
「Use noindex for Date Archives:」

「Use noindex for Author Archives:」

「タグを noindex にする:」

「Use noindex for the Search page:」

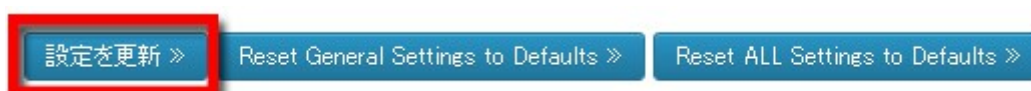
この項目すべてにチェックを入れているか確認してください。



Setting	Checked
カテゴリーをnoindexにする:	<input checked="" type="checkbox"/>
Use noindex for Date Archives:	<input checked="" type="checkbox"/>
Use noindex for Author Archives:	<input checked="" type="checkbox"/>
タグをnoindexにする:	<input checked="" type="checkbox"/>
Use noindex for the Search page:	<input checked="" type="checkbox"/>

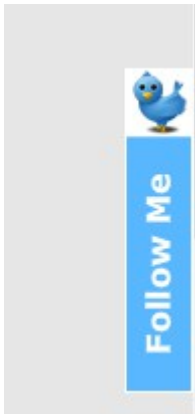
すべてチェックを入れたら（すでに入っているものもあります）

最下段にある「設定を更新」ボタンを押せば設定完了です。



設定を更新 >>	Reset General Settings to Defaults >>	Reset ALL Settings to Defaults >>
----------	---------------------------------------	-----------------------------------

WP FollowMe



サイトの横に、このようにツイッターのボタンを表示するプラグイン。

Settings

WP FollowMe Options

Your Twitter URL

Example: <https://twitter.com/woburn>

Error: Twitter URL cannot be blank

Like what we're doing? Help us back by enabling the "Powered by" info on your website!

☐ Add the "Powered by" info

Follow message

Background color

Icon background color

☐ Use same color as the badge background color

Text color

Badge border color

ワードプレスの管理画面から「設定」⇒「WP FollowMe」とすすみ、
赤枠の中にツイッターの URL を記載します。

<https://twitter.com/> **(個人のアカウ**ント ID)

この太字の部分が個人のアカウ

ント ID になっています。

例えば、

https://twitter.com/moririn_net2

もりりんのアカウントの場合、このようになります。

この URL を記載して、ページの最下段のボタンをクリックして設定を保存します。

Positioning

Alignment	Right ▼
Distance From Top	200 px
<div>変更を保存</div>	

ボタンの色やアイコンなどをお好みで変更することも可能ですので
いろいろ試してみましょう。

Google Analyticator

ワードプレスのダッシュボードに、
アクセス解析のグラフなどを表示してくれるプラグインです。

まずは、URL をクリックしてグーグルアナリティクスにログインしましょう。

<http://www.google.co.jp/intl/ja/analytics/>



ログインしたら、右上の「アナリティクス設定」をクリックします。

次いで、「トラッキング情報」をクリックしましょう。



このように、トラッキング ID が表示されます。

このトラッキング ID をあとで使用します。



Google Analytics

ホーム http://moririn.net - http://moririn.net moririn.net [DEFAULT] レポート

アカウントリスト > もりりん > http://moririn.net

http://moririn.net
プロパティ ID: UA-23345678-1
デフォルト URL: http://moririn.net

プロフィール **トラッキング情報** プロパティ設定 ソーシャル設定 リマーケティング

トラッキング ID ステータス: データを受信しています

UA-23345678-1

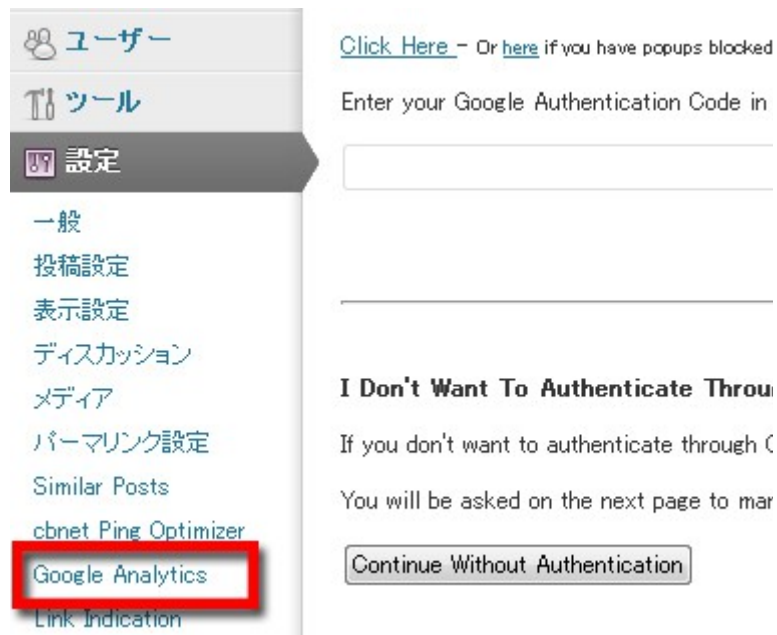
ウェブサイトのトラッキング

何かにコピーしておいてもいいし、ページを閉じないようにしておいてもいいですね。

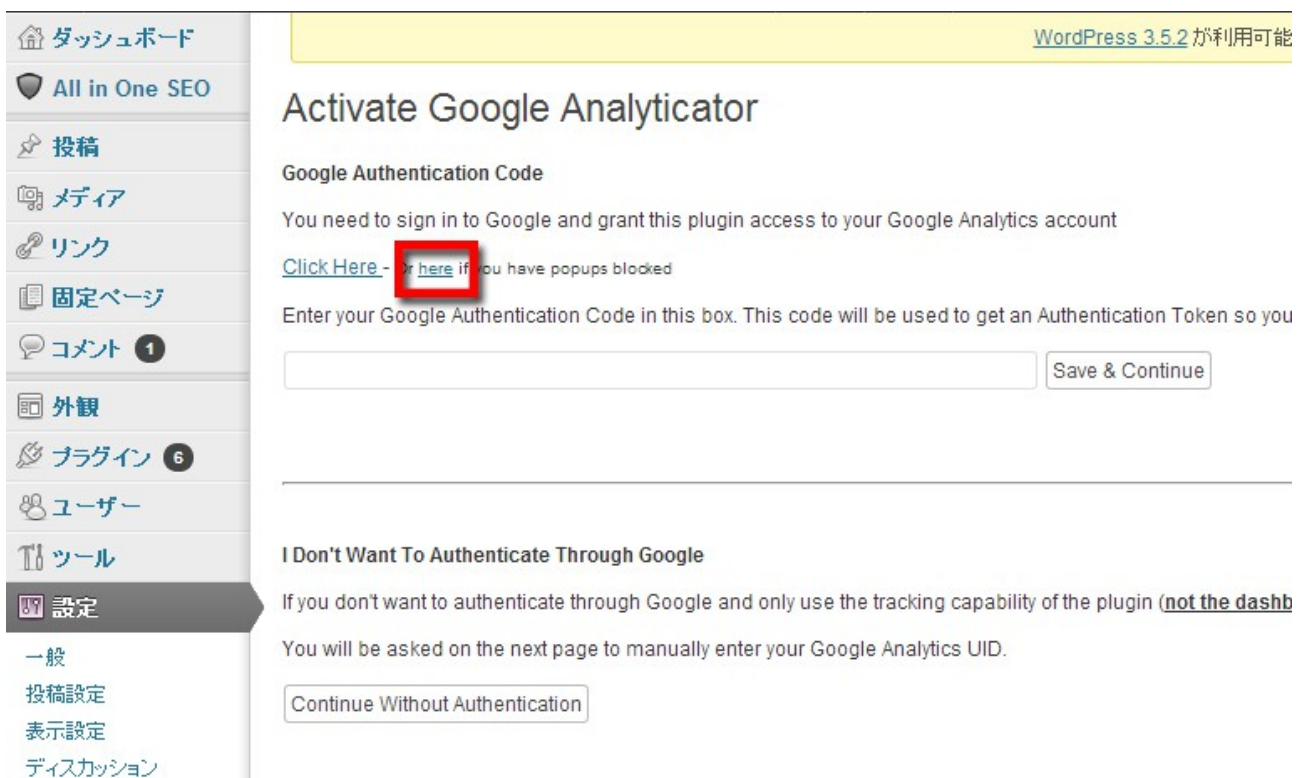
あとでトラッキング ID がコピーできるようにしておいてください。

次いで、WordPressの管理画面から、

「設定」⇒「Google Analyticator」と進みます。



すると、こんな画面になっているはずですので「Here」をクリックします。



クリックすると画面が切り替わり、下図のようなコードが出てきますので
コピーしましょう。



このコードをコピーし、アプリケーションに切り替えて貼り付けてください:

4 JkB6wUgr

コピーしたら、ワードプレスの画面に戻って

図のようにコードを貼り付けます。

貼り付けたら「Save&Continue」をクリックしましょう。

すると、画面が切り替わります。

見てほしいのは、大きく 3箇所です。

WordPress

Google Analytics Settings

Google

Basic Settings

Google Analytics logging is: **Enabled**

Google Analytics UID: **moririn.net**

Tracking Settings

Track all logged in WordPress users: **Yes**

Selecting "no" to this option will prevent logged showing up in your Analytics reports. Use the n

一番上の「Google Analytics logging is:」というところを、
「Disabled」から「Enabled」に変更します。

この時、グーグルアナリティクスに複数のブログを登録している場合、
該当するブログを指定してあるか確認してくださいね。

このまま、このページの真ん中よりちょっと下あたりまでスクロールして、
「Google Adsense ID:」という欄がありますので、
先ほど STEP3 で確認した、グーグルアナリティクスのトラッキング ID を入力します。

Prefix external links with:

outgoing

Enter a name for the section tracked external links will appear under.

Prefix download links with:

download

Enter a name for the section tracked download links will appear under.

Google AdSense ID:

UA-23

Enter your Google AdSense ID assigned by Google Analytics in this text box. It must be linked.

Additional Tracking Code

Additional tracking code
(before tracker initialization):

ページ下段にある「Save Changes」をクリックして保存しましょう。

User roles that can see the
dashboard widget:

- ☒ 管理者
- ☐ 編集者
- ☐ 投稿者
- ☐ 寄稿者
- ☐ 購読者

Specifies the user roles that can see the dashboard widget.

Save Changes

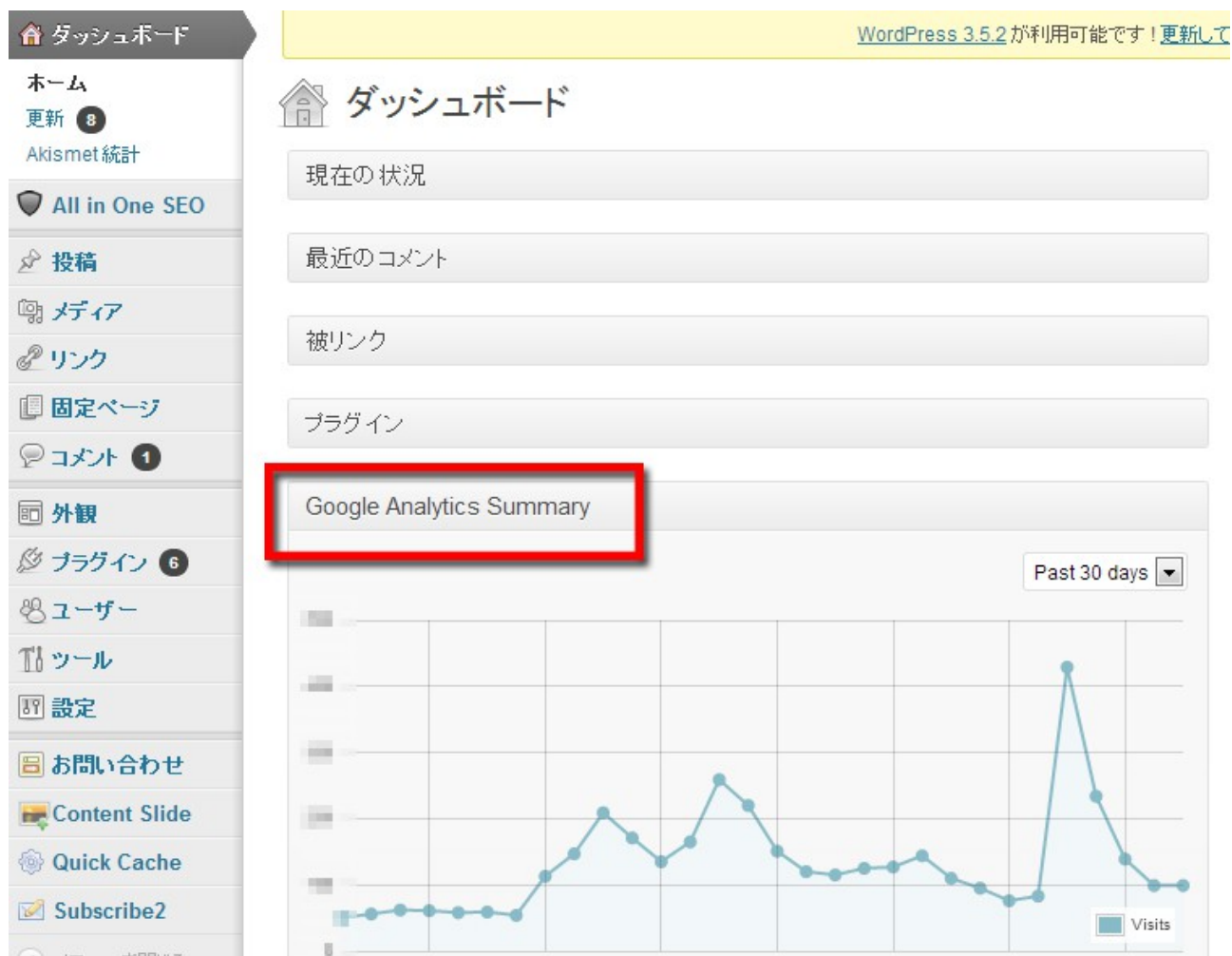
[Deauthorize & Reset Google Analyticator.](#)

LEARN HOW TO USE GOOGLE TO MAKE SMARTER BUSINESS

これで、「Google Analyticator」は設定されました。

ダッシュボードに新しく

「Google Analyticator」コーナーができてますので確認してくださいね。



.html on PAGES

ワードプレスの記事の URL を、「http://~~.com/~~.html」
という形式にしてくれるプラグイン。

通常、何もしていない初期設定のワードプレスでは、URL が
http://testsite01.net/?p=5

このように、/?p=●● という形になっています。

URL の中に「?」や「=」があるような URL を「動的 URL」といい、
以前は SEO に不利になるなど、いろいろ言われていました。
今ではそこまで不利益になることはないといわれています。

ただ、ワードプレスでは、この URL の形を、
自分で自由に設定することができるのです。

これを「**パーマリンク設定**」といいます。

ワードプレスのテンプレートによっては、
この**パーマリンク設定**にあらかじめ指定があるものがあります。

株式会社 WEB ライダー社様の「賢威」や
つかさ様の「EFFICIENT」などがそうですね。

その際には、テンプレートの説明書に従って設定してください。

そのようなパーマリンクの指定がないテンプレートを利用している場合、
ワードプレスの URL の形は必要に応じて自由に変えることができます。

ただし、一度設定したパーマリンク設定を後から変更すると、
過去記事の URL がうまく表示されないことがあります。

パーマリンク設定は最初に設定したらあまりコロコロ変えないほうがいいでしょう。

ここでは、オーソドックスな URL の形のひとつである、

「http://~~.com/~~.html」という形式にするためのプラグイン

「.html on PAGES」を導入した後のパーマリンク設定について解説します。

ワードプレスの管理画面から、「設定」⇒「パーマリンク設定」と進みます。

初期設定では、WordPress はクエスチョンマークと多くの数字からなる URL を使用していますが、パーマリンク改善できます。[利用可能なタグはたくさんあります](#)。また、すぐに使用できる例をいくつか用意しました。

共通設定

<input checked="" type="radio"/> デフォルト	http://infortrend.biz/testsite/?p=123
<input type="radio"/> 日付と投稿名	http://infortrend.biz/testsite/2013/07/12/sample-post/
<input type="radio"/> 月と投稿名	http://infortrend.biz/testsite/2013/07/sample-post/
<input type="radio"/> 数字ベース	http://infortrend.biz/testsite/archives/123
<input type="radio"/> 投稿名	http://infortrend.biz/testsite/sample-post/
<input checked="" type="radio"/> カスタム構造	http://infortrend.biz/testsite/

「カスタム構造」にチェックを入れ、

その横に「/%post_id%.html」と記載してください。

このままコピーしましょう。前後に空白が入らないように注意です。

<input type="radio"/> デフォルト	http://infotrendbiz/testsite/?p=123
<input type="radio"/> 日付と投稿名	http://infotrendbiz/testsite/2013/07/12/sample-post/
<input type="radio"/> 月と投稿名	http://infotrendbiz/testsite/2013/07/sample-post/
<input type="radio"/> 数字ベース	http://infotrendbiz/testsite/archives/123
<input type="radio"/> 投稿名	http://infotrendbiz/testsite/sample-post/
<input checked="" type="radio"/> カスタム構造	http://infotrendbiz/testsite/ <input type="text" value="/%post_id%.html"/>

入力したら設定を保存します。

カテゴリーベース	<input type="text"/>
タグベース	<input type="text"/>
<input type="button" value="変更を保存"/>	

これで、あなたのブログ記事の URL は、

http://～～～.com/（数字）.html

という形で表示されるようになりました。

この数字の部分は、投稿記事を書くたびに、自動的に番号が割り振られ、

その番号が表示されます。

パーマリンクには他にもさまざまな種類があり、

カテゴリーとページ番号を表示できるようにする、

ページ番号ではなく 1 記事ずつ自分で名前を設定できるようにする、など、

自由に設定することができます。

ただ、今の段階では、スタンダードな URL に設定するように解説していますので
特に何かこだわりたい、などがない場合はこのままでいいでしょう。

Google XML Sitemaps と Dagon Design Sitemap Generator

サイトを運営していくと、読者さんが便利にサイトを使うためにも、
検索エンジンに効率よくサイトを見てもらうためにも、
サイトマップの作成は欠かせません。

けれど、いちいち記事を書くたびに手動でリンクを貼って・・・など、
やってられませんよね。

ここでは、プラグインで簡単にサイトマップを作る方法を解説します。
使うのは、「Dagon Design Sitemap Generator」と「Google XML Sitemaps」の
2つのプラグインです。

どちらもこのマニュアルを読み進める中ですでにインストールされていますので
さっそく設定をしていきましょう。

ただし、テンプレートの種類によっては、サイトマップに一定の形式があり、
それに従わないと正しく表示されないことがあります。
そのときには、お使いのテンプレートの説明書に従ってください。

では、さっそく作業を進めましょう。
まずは、ワードプレスの管理画面から、
「設定」⇒「XML-Sitemap」をクリックします。

設定

一般
投稿設定
表示設定
ディスカッション
メディア
パーマリンク設定
Similar Posts
cbnet Ping Optimizer
Google Analytics
Link Indication
DDSiteMapGen
WP Cumulus
WP FollowMe
PostViews
WP to Twitter
PageNavi
WP Lightbox 2
WP Social Bookmarking
Light
AddQuicktag
XML-Sitemap

Google に更新を通知しました。

Bing に更新を通知しました。

構築処理に約**1.03秒**かかり、22 MB のメモリを使用しました。

サーバーまたはブログ上で何か変更をした場合は、手動で[サイトマップ](#)を再構築してください。

もし構築処理の間に何か問題が発生したら、[デバッグ機能](#)を使って問題を解決してください。

There is a new beta version of this plugin available which supports gzip compression. [Click here for more information and download](#)

基本的な設定

サイトマップファイル: [さらに詳しく](#)

☒ 標準の XML ファイルを出力する (filename)

☒ gz 圧縮されたファイルを出力する (filename + .gz)

構築モード: [さらに詳しく](#)

☒ ブログのコンテンツを変更したらサイトマップを再構築する

☐ GET リクエストによる手動のサイトマップ作成を許可する [?](#)

通知を更新: [さらに詳しく](#)

☒ Google にブログの更新を通知

登録は必要ありませんが、[Google ウェブマスターツール](#) でクロール関連の統計を収集できます。

☒ Bing (旧名 MSN Live サーチ) にブログの更新を通知

登録は必要ありませんが、[Bing ウェブマスターツール](#) でクロール関連の統計を収集できます。

☒ サイトマップの URL を仮想 robots.txt ファイルに追加

WordPress が生成した仮想 robots.txt ファイルを使用しています。実際の robots.txt ファイルは、[こちら](#)を参照してください。

特にこれといって設定するものはありませんが、
 1箇所だけ、下図のように、「検出された URL」の部分だけ、
 URL をコピーしておきましょう。

Copyright©2013 Sinsekai. All Rights Reserved.

62

サイトマップファイルの場所

☒ 自動検出

サイトマップファイル名

検出された URL: <http://infotrendbiz/testsite/sitemap.xml>

☐ 手動配置

ファイル名を含むサイトマップファイルへの相対もしくは絶対パス
例: /var/www/htdocs/wordpress/sitemap.xml

ファイル名を含む Sitemap ファイルへの完全な URL
例: http://www.yourdomain.com/sitemap.xml

この URL は別のページに貼り付けますのでコピーしたままにしておいてください。

次いで、ワードプレスの管理画面から、

「設定」⇒「DD Sitemap Gen」をクリックします。

プラグイン 1

ユーザー

ツール

設定

一般

投稿設定

表示設定

ディスカッション

メディア

パーマリンク設定

Similar Posts

cbnet Ping Optimizer

Google Analytics

Link Indication

DDSiteMapGen

WP Comodus

WP FollowMe

<http://www.dazcodesign.com/articles/sitemap-generator-plugin-for-wordpress/>

Upgrading? If you are upgrading from a previous version, click the **Load Default Options** button below. Some settings may have changed.

General Options

Language: **English**

Items per page:
Set to 0 for unlimited

Sitemap page slug:
If using permalinks, enter the slug of your

Sitemap Generation

What to show: ☒ Pages and posts
☐ Just posts
☐ Just pages

If showing both, which first: ☒ Posts first
☐ Pages first

Post sort order: ☒ By title

まずは、「Language」を「English」から「Japanese」に変更し、

最下部にある「Update options」をクリックしましょう。



表記が日本語に変わります。

変わらないときにはもう一度クリックしてください。

その他



このページの最下部の「その他」というところに、

「XML Sitemap のファイルパス:」という欄がありますので

そこに、先ほどコピーした URL を貼りましょう。

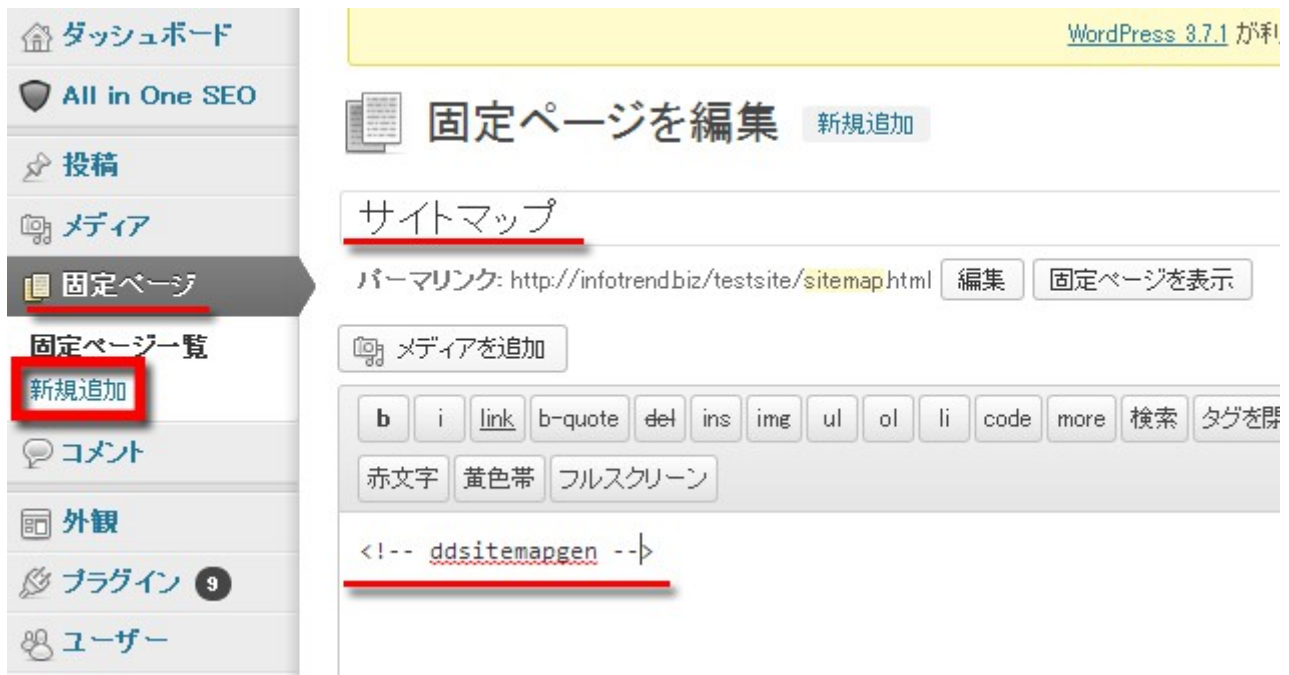
貼り終わったら「更新」をクリックしておきます。

さて、これで、サイトマップは自動生成されるようになりました。

が、肝心のサイトマップページ本体がまだありません。

これから、そのサイトマップページを作成しましょう。

ワードプレスの管理画面から「固定ページ」⇒「新規追加」をクリックします。



上のように、「サイトマップ」という記事タイトルで、

記事本文には「<!-- ddsitemapgen -->」とだけ記載します。

記載するときは、ビジュアルエディタではなく**テキストエディタ**にしてください。

ビジュアルエディタでは正しくタグが作動しません。

このまま、一旦記事を公開してしまいましょう。



次いで、URLをサイトマップとして適した形に変えて行きます。

今、このサイトマップのURLは、このサイトの場合、
http://infotrend.biz/testsite/**サイトマップ**.html
と、カタカナが入っています。

このままでは正しくプラグインが作動しないので
http://infotrend.biz/testsite/**sitemap**.html
という形に変えて行きます。



「編集」をクリックしてください。
下図を参考に、「サイトマップ」というカタカナを、「sitemap」という
アルファベットに変更しましょう。



変更したら「OK」をクリックし、ページを更新しておきます。



これで、http://~~/**sitemap.html**というサイトマップができました。

Ktai Style

ワードプレスのサイトを、ガラケー（スマホじゃない携帯）でも閲覧できるようにしてくれるプラグイン。



すでに、インストールした時点で「携帯表示」というコーナーができています。特段何か設定しないと使えないわけではありません、表示させるテーマや色などを設定することができますのでお好みで設定してください。

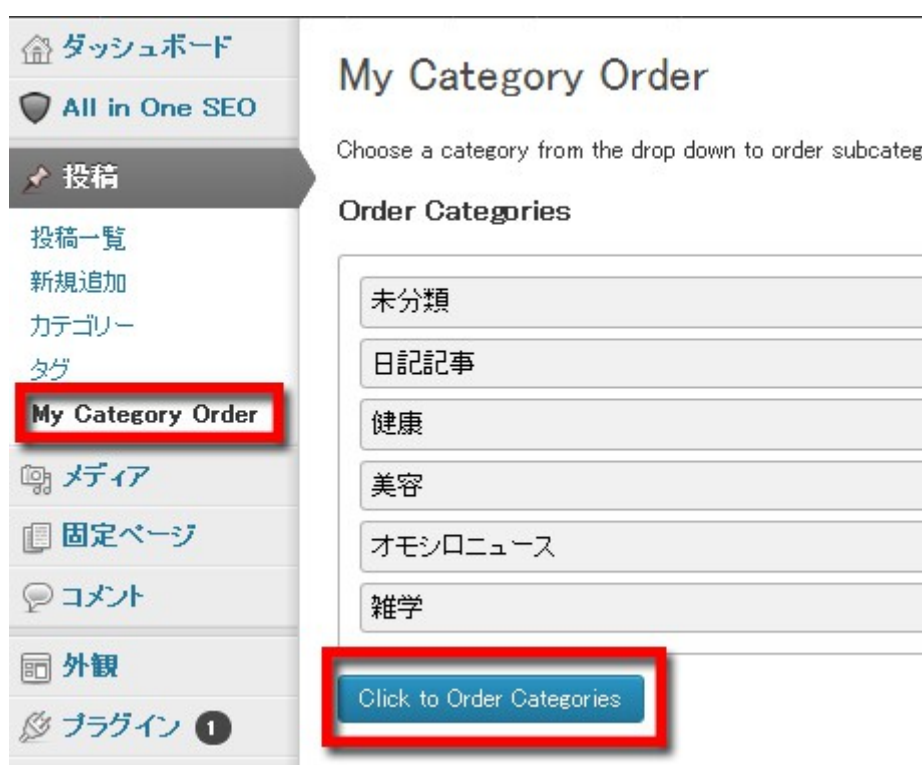
My Category Order

記事を書いていくうちにどんどん増えていくであろうカテゴリ。

そのままでは、適当に並べただけで、読者さんだって使いづらいですね。

例えば、健康に関するカテゴリは近くにまとめたい、など、

カテゴリの並び順をきれいに整理するだけで随分サイトがすっきりします。

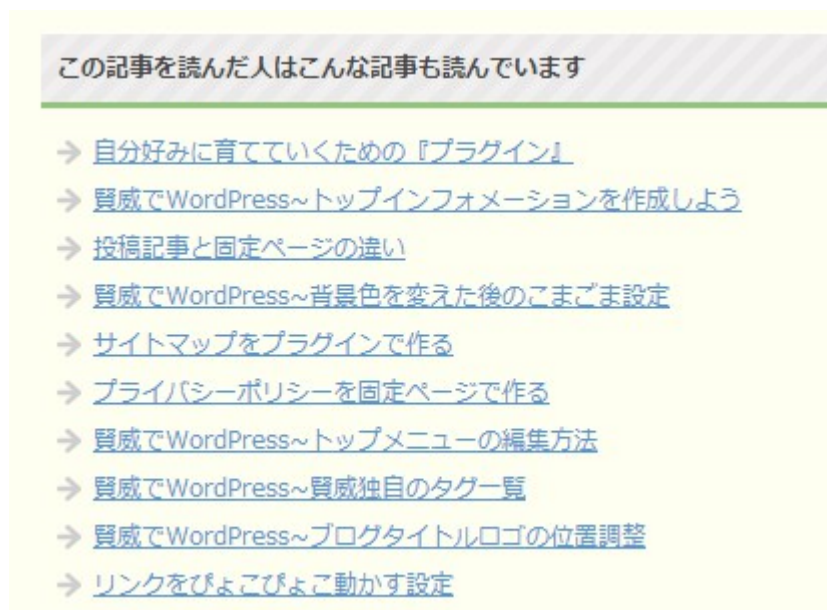


図のように、「投稿」⇒「My Category Order」とすすみ、
並び替えたい順番に各カテゴリ名をドラッグして並び替え、

「Click to Order Categories」をクリックするだけで、
カテゴリを好みの順番に並び替えることができます。

Similar Posts と Post Plugin Library

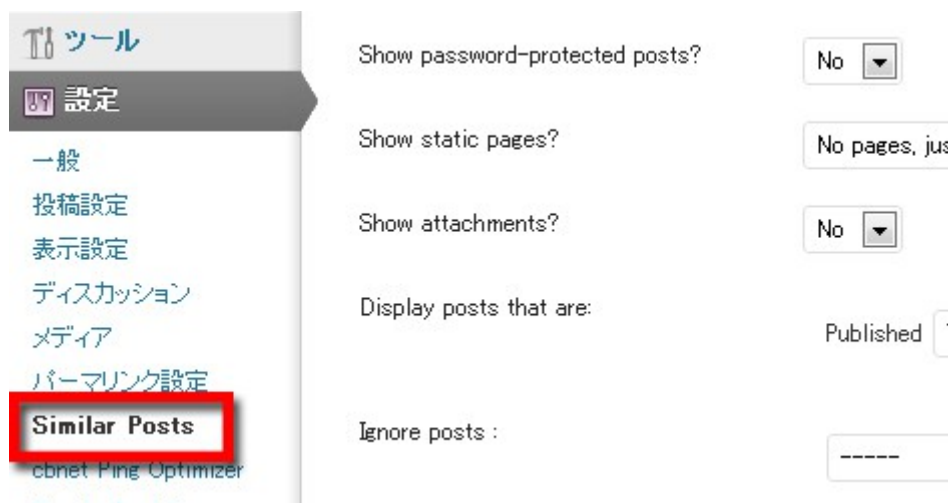
各ブログ記事の最後に、こんな表示を自動で行ってくれるプラグイン。



読者さんの利便性も上がりますし、サイト滞在時間や平均 PV の底上げなど、ホンの少しの設定で劇的に伸ばす効果がありますので是非設定したいですね。

それでは、細かい設定を見ていきましょう。

まずは、「設定」⇒「Similar Posts」と進みます。



まずは、最初に出てくるこの部分。

Similar Posts [help and instructions](#)

[General](#) [Output Filter](#) [Placement](#) [Other](#) [Manage the Index](#) [Report a Bug](#) [Remove this Plugin](#)

General Settings

Save General Settings

Number of posts to show:

5

Number of posts to skip:

0

Show password-protected posts?

No ▼

「5」とあります。

これは、関連記事を何件表示しますか？という合図なのでお好みで数字を決めましょう。
最初は5件程度で、記事数が増えてきたら10件程度がいいでしょう。

次いで、上部にあるリンクから「Other」をクリックします。

ダッシュボード

All in One SEO

投稿

メディア

固定ページ

コメント

外観

プラグイン 1

ユーザー

ツール

設定

Similar Posts [help and instructions](#)

[General](#) [Output Filter](#) [Placement](#) [Other](#) [Manage the Index](#) [Report a Bug](#) [Remove this Plugin](#)Other Settings

Save Other Settings

Relative importance of:

content: 90 % title: 10 % tags: 0 % (adds up to 100%)

Maximum number of words to use for match:

20

Extract terms to match by:

Word Frequency ▼

赤い枠で囲った部分の設定をします。

これは、表示する関連記事を、どこから抽出しますか？という意味です。

記事本文に含まれるキーワードから関連記事を拾う、
記事タイトルに含まれるキーワードから関連記事を拾う、
記事につけたタグから関連記事を拾う、

この3つのバランスをここで整えることができます。

まだ記事数が少ないうちは、
80 : 10 : 10 のように、記事本文から拾うパーセンテージを大きくし、

徐々に記事数が増えてきたら、
30 : 50 : 20 のように、記事タイトルから拾う比率を上げるなど、
お好みで比率を変えていきましょう。

この比率は、**全部で100%**になるようにしてくださいね。

そして、関連記事をどこに表示させるか、ですが、
ワードプレスの管理画面から、「外観」⇒「テーマ編集」とすすみ、
「単一記事の投稿 (single.php)」の任意の場所に、

<h3>あわせて読みたい関連記事</h3>

```
<?php similar_posts(); ?>
```

と記載してください。

「あわせて読みたい関連記事」という部分は変更してもかまいません。



このように、SINKAを使う場合は、

`<?php the_content(); ?>`という記述の下あたりに記載すればいいでしょう。

ワードプレスのソースはテーマによってバラバラですので
あなたが使うテーマにあわせて最適な位置を決めてください。

ただし、設定してから表示が開始されるまで1時間ほどかかりますので
気長に待ってくださいね。

WordPress ping Optimizer

ブログの Ping 送信を支援するプラグイン。

Ping 送信とは、ピング送信やピン送信とも言われ、

ブログを更新したときに、更新した情報を送信する機能のことです。

ブログは、ホームページと違って、

「毎日のようにしょっちゅう更新する」ことが前提のサイトですよ。

で、企業などの中には、広くたくさんのブログの更新情報を集めて

「新着ブログ記事情報！！」みたいに紹介することで

集客するサイトなどもたくさんあります。

例えば、「日本ブログ村」や「人気ブログランキング」のようなランキングサイトや、

大手ブログサービスの会社などでは、たくさんのブログの更新情報を集めています。

その、「新着記事情報」を、あなたが、記事を書いたタイミングで

自動的に送ってくれるのが Ping 送信という仕組みです。

ただ、気をつけないといけないのが、

特にワードプレスの Ping 送信のタイミングです。

新しく書いた記事を公開したタイミングで 1 回だけ送ってくればそれでいいのに、

「あ、ちょっと誤字発見！直そう♪」

「うわ、画像がはみ出てた…サイズを直して…」

など、**後で記事を修正したときなどにもいちいち Ping を送信する**のです。

私もそうですが、ブログのフォントサイズや色、画像、リンクなどをいちいち、実際のブログ画面で確認しながら記事を書いているのでそのたびに Ping が送られているとなるとちょっと困るんです。

Ping を受けいれている送信先サイトでは、新着情報が 1 回だけ送られてくるのは歓迎しますが、同じ記事の更新情報が何回も何回も送ってこられてはたまりません。

「んもう！しつこく同じ Ping を送ってくるなんて、迷惑よ！スパムだわ！」と、スパム判定されてしまいます。

しかも、こういった Ping 送信サービスは、しょっちゅう新しい会社が参入し、しょっちゅう撤退していくので、せっかく新しい送信先を見つけても、気がつけばとっくに撤退後で、ありもしない Ping 送信先にしつこく送ってて、「ありもしない Ping 送信先にしつこく送信するなんてやっぱりスパムね！」と、こちらに非があるかのように言われ、スパム判定されるケースもあります。

そういう、Ping 送信を何度もしつこく送らないようにしてくれるのが

「WordPress ping Optimizer」というプラグインです。



すでにインストールは終わっていますが、

ちょっとだけ設定が必要です。

とはいえ、ごく簡単な設定だけで済みますのでやっておきましょう。

まずは、WordPressの管理画面から

「設定」⇒「WordPress ping Optimizer」とすすみます。

すると、大きく欄があけてありますから、

そこに、Ping 送信先 URL を記載します。



WordPress ping Optimizer 2.34

URIs to Ping

The following services will automatically be pinged when you publish

NB: This list is synchronized with the [original update services list](#).

Visit to [WordPress Ping Optimizer](#) plugin official home page for know

Separate multiple service URIs with line breaks:

<http://rpcpingomatic.com/>

大きな枠に記載する Ping 送信先は、

以下の URL を貼り付けてください。

=====

<http://blog.goo.ne.jp/XMLRPC>
<http://api.my.yahoo.com/RPC2>
<http://blog.goo.ne.jp/XMLRPC>
<http://blog.with2.net/ping.php/>
<http://blogsearch.google.co.jp/ping/RPC2>
<http://blogsearch.google.com/ping/RPC2>
<http://hamham.info/blog/xmlrpc/>
<http://ping.blo.gs/>
<http://ping.bloggers.jp/rpc/>
<http://ping.blogmura.jp/rpc/>
<http://ping.blogranking.net/>
<http://ping.cocolog-nifty.com/xmlrpc>
<http://ping.dendou.jp>
<http://ping.exblog.jp/xmlrpc>
<http://ping.fc2.com/>
<http://ping.feedburner.com>
<http://ping.freeblogranking.com/xmlrpc/>
<http://ping.maplog.jp/>
<http://ping.rootblog.com/rpc.php>
<http://ping.rss.drecom.jp/>
<http://ping.sitecms.net>
<http://pingoo.jp/ping/>
<http://ranking.kuruten.jp/ping>
<http://rpc.blogrolling.com/pinger/>

<http://rpc.pingomatic.com/>

<http://rpc.reader.livedoor.com/ping>

<http://rpc.weblogs.com/RPC2>

<http://serenebach.net/rep.cgi>

<http://services.newsgator.com/ngws/xmlrpcping.aspx>

<http://taichistereo.net/xmlrpc/>

http://wpdocs.sourceforge.jp/Update_Services

<http://www.bloglines.com/ping>

<http://www.blogpeople.net/ping/>

<http://www.blogpeople.net/servlet/weblogUpdates>

<http://www.blogstyle.jp/>

<http://www.i-learn.jp/ping/>

<http://xping.pubsub.com/ping/>

===== ここまで =====

※ページをまたぐのでページ数が入らないように注意してください。

URL をコピーしたら、「Enable ping」にチェックが入っていることを確認し、
「Save Settings」をクリックしておきましょう。

投稿設定
表示設定
ディスカッション
メディア
パーマリンク設定



☒ Enable ping
☐ Limit excessive ping in short time
Save Settings Ping Now

WP-PostViews

よく読まれる人気記事を自動で表示してくれるプラグイン。

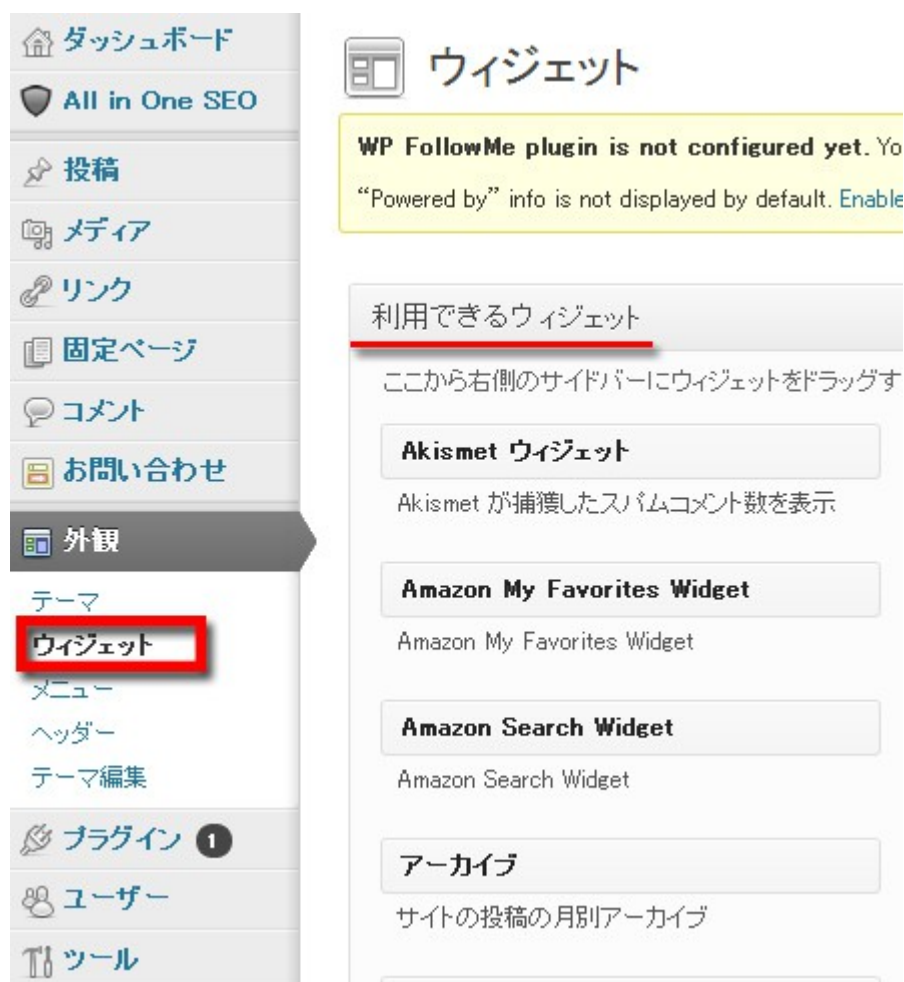
PV 数なども表示してくれるので、読まれる記事がさらに読まれる効果もあります。

こだわってカスタマイズをしたいというとき以外には、

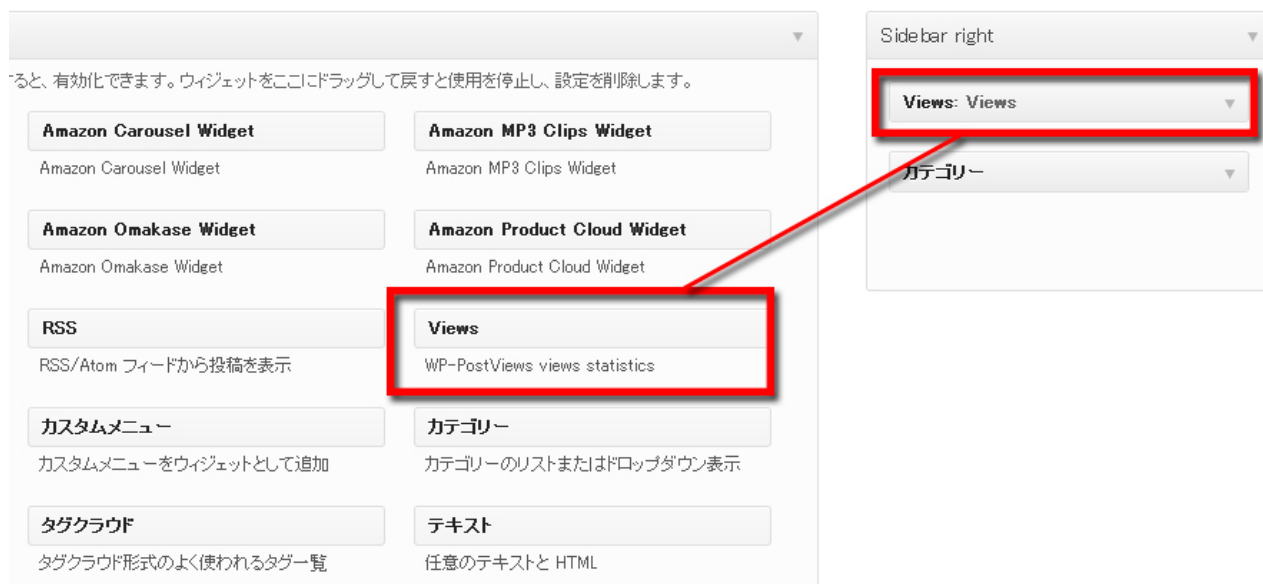
特に設定などは不要ですが、ウィジェット機能を使ってサイドバーに

人気記事を表示させる手順だけ見ておきましょう。

まずは、「外観」⇒「ウィジェット」と進みます。



「利用できるウィジェット」から「Views」を探します。



見つかったら、サイドバーの表示させたいところに
マウスなどでぎゅぎゅーっと移動させます。

A screenshot of the 'Views: Views' widget configuration screen. The title 'Views: Views' is at the top, with a small dropdown arrow highlighted by a red box. Below it, the 'Title:' field contains the text 'Views' and is highlighted by a red box. The 'Statistics Type:' dropdown is set to 'Most Viewed'. The 'Include Views From:' dropdown is set to 'Posts & Pages'. The 'No. Of Records To Show:' field is set to '10'. The 'Maximum Post Title Length (Characters):' field is set to '200'. There's a note '0 to disable.' below. The 'Category IDs: *' field is set to '0'. A note says 'Seperate mutiple categories with commas.' (sic). At the bottom, there are two buttons: '削除 | 閉じる' (Delete | Close) and '保存' (Save), with the '保存' button highlighted by a red box.

特にこれといって設定することはありませんが、
「Title」の部分だけ、お好みで、
「人気記事一覧」などに名前を変えておきましょう。

また、実際に表示が始まるまで
少し時間がかかりますので気長に待ってくださいね。

WP-DBManager

ワードプレスのデータベースのバックアップを自動で取ってくれるプラグイン。

ちょっと設定がややこしくて迷子になりがちなので、じっくり設定していきましょう。

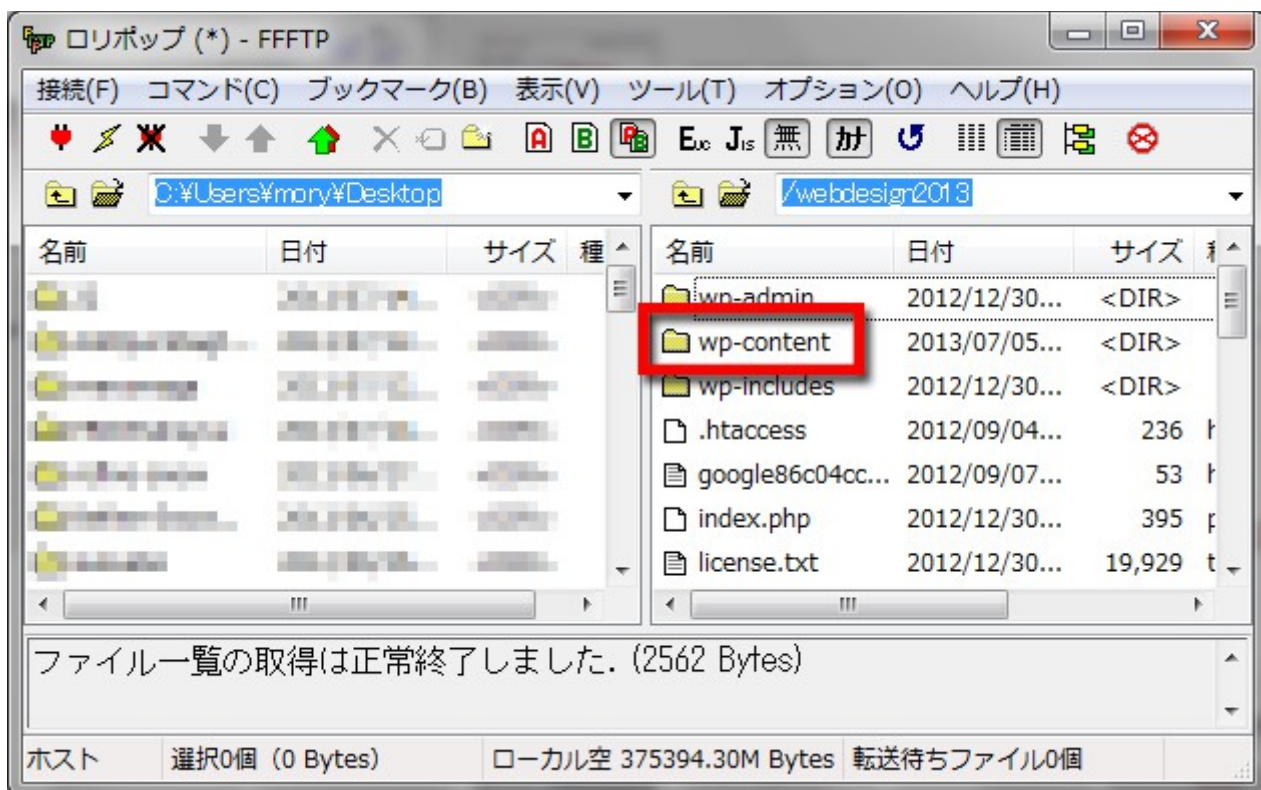
プラグインのインストール自体はすぐにできますが、

細かい設定をするために、FTP ソフトが必要です。

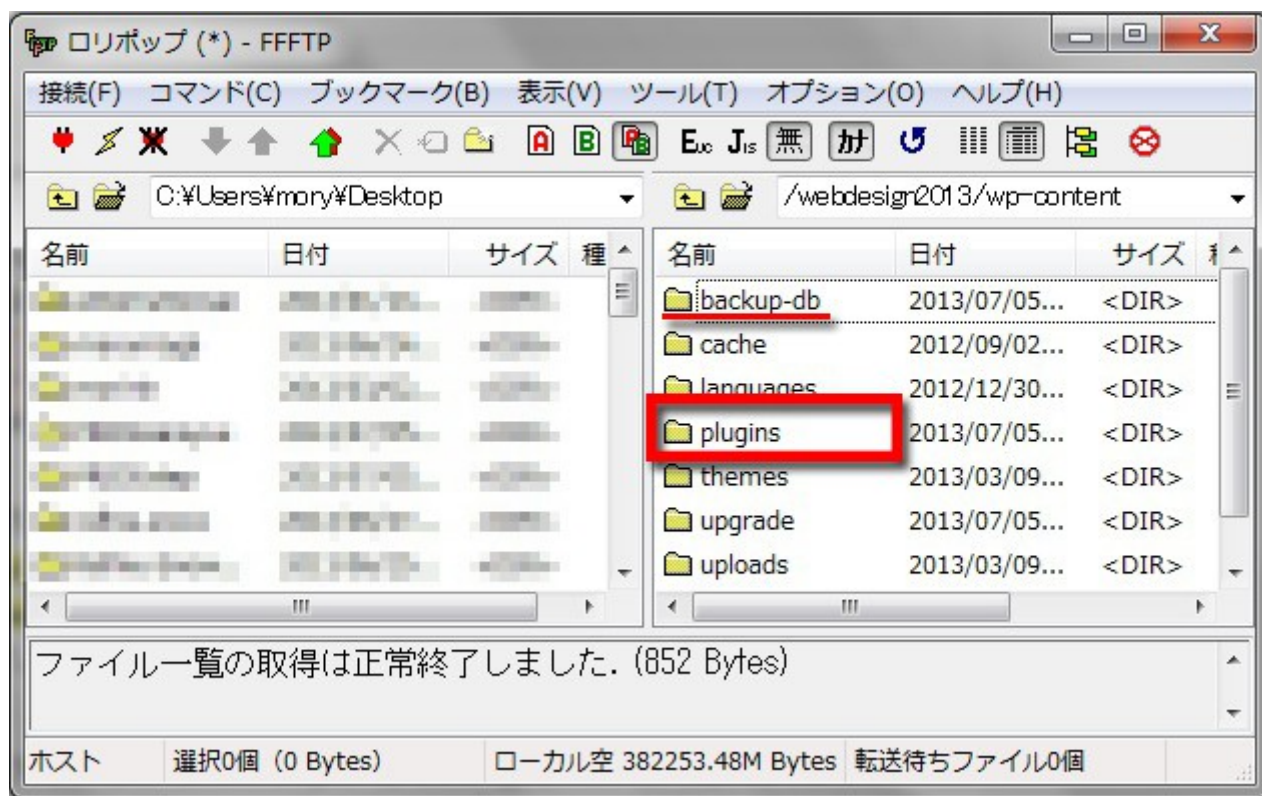
FTP ソフトの詳しい導入方法は、ご購入者様サイト内にある

別冊の FTP マニュアルを参考にしてください。

まずは、FTP ソフトを使ってワードプレスの「wp-content」までいきましょう。



「wp-content」の中に、新しく「backup-db」というフォルダができています。
下図でいうと上の下線部分ですね。



この、「backup-db」は、現在空っぽです。

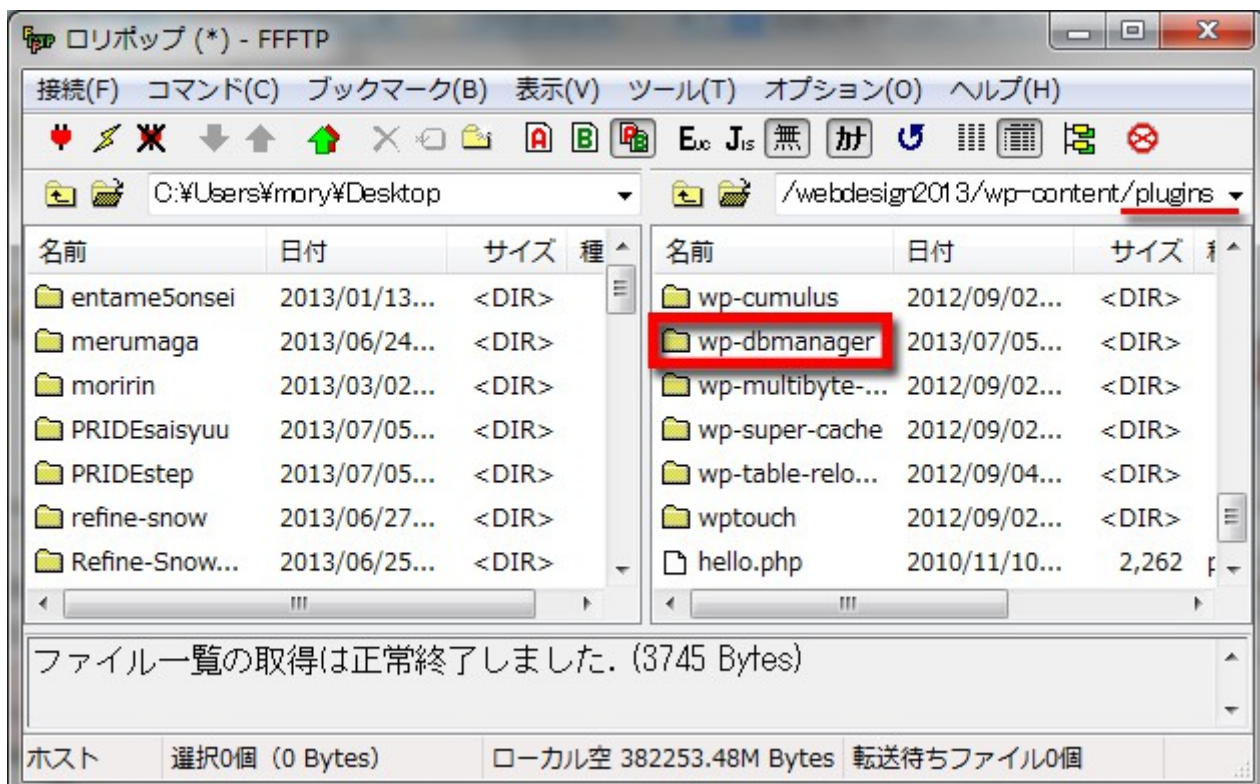
ここに、バックアップデータが書き込まれていくのですが、

今は、誰でも気軽にアクセスできる状態です。

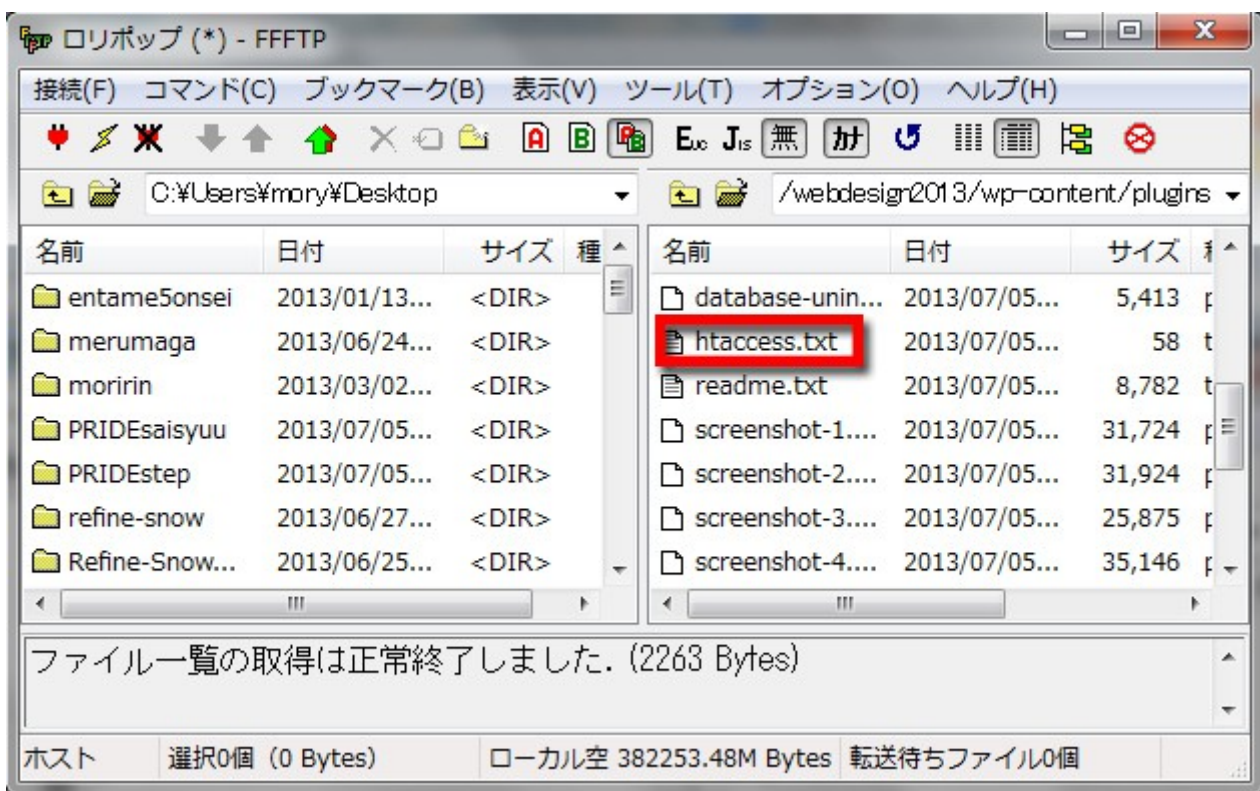
バックアップデータにも気軽にアクセスされてしまっては困るので、

鍵をかける作業をしていきましょう。

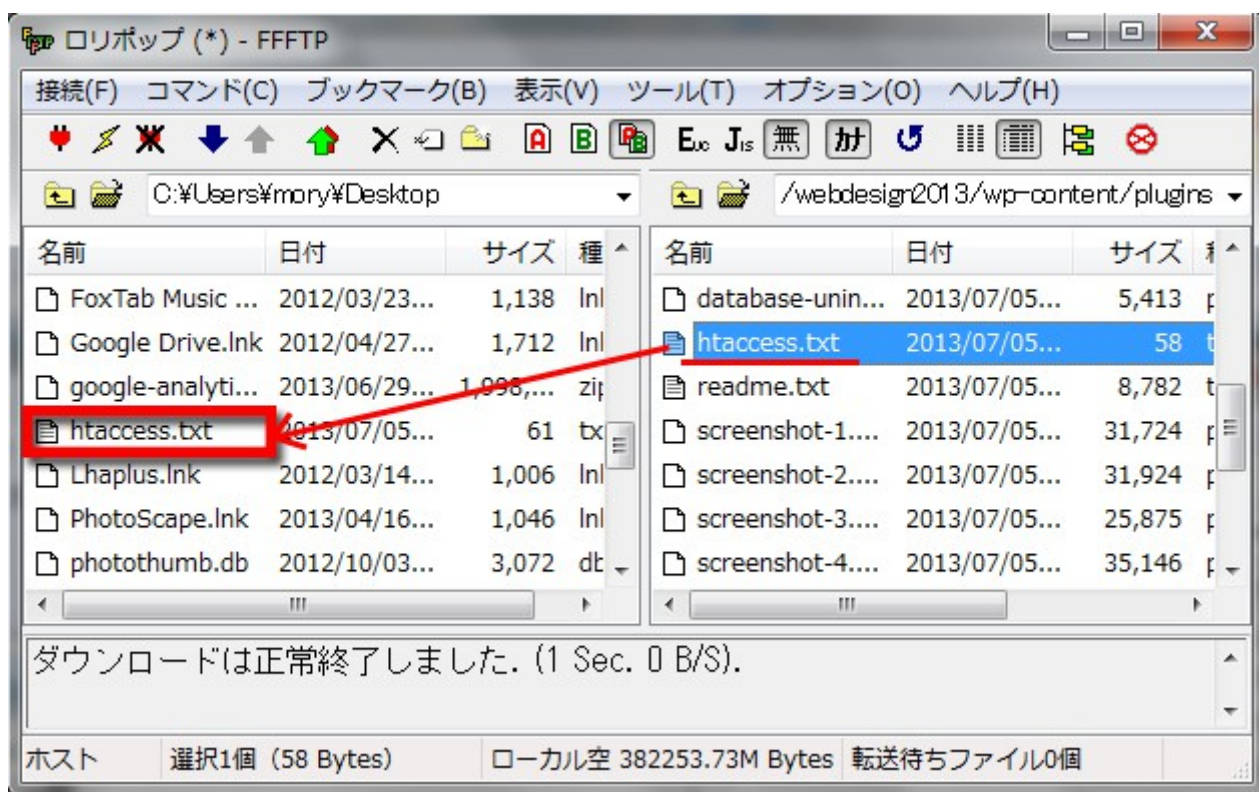
上の図の赤枠で囲った「plugins」をクリックしてください。



すると、今インストールされているプラグインのファイルが
ずらっと出てきますので「wp-dbmanager」をクリックします。

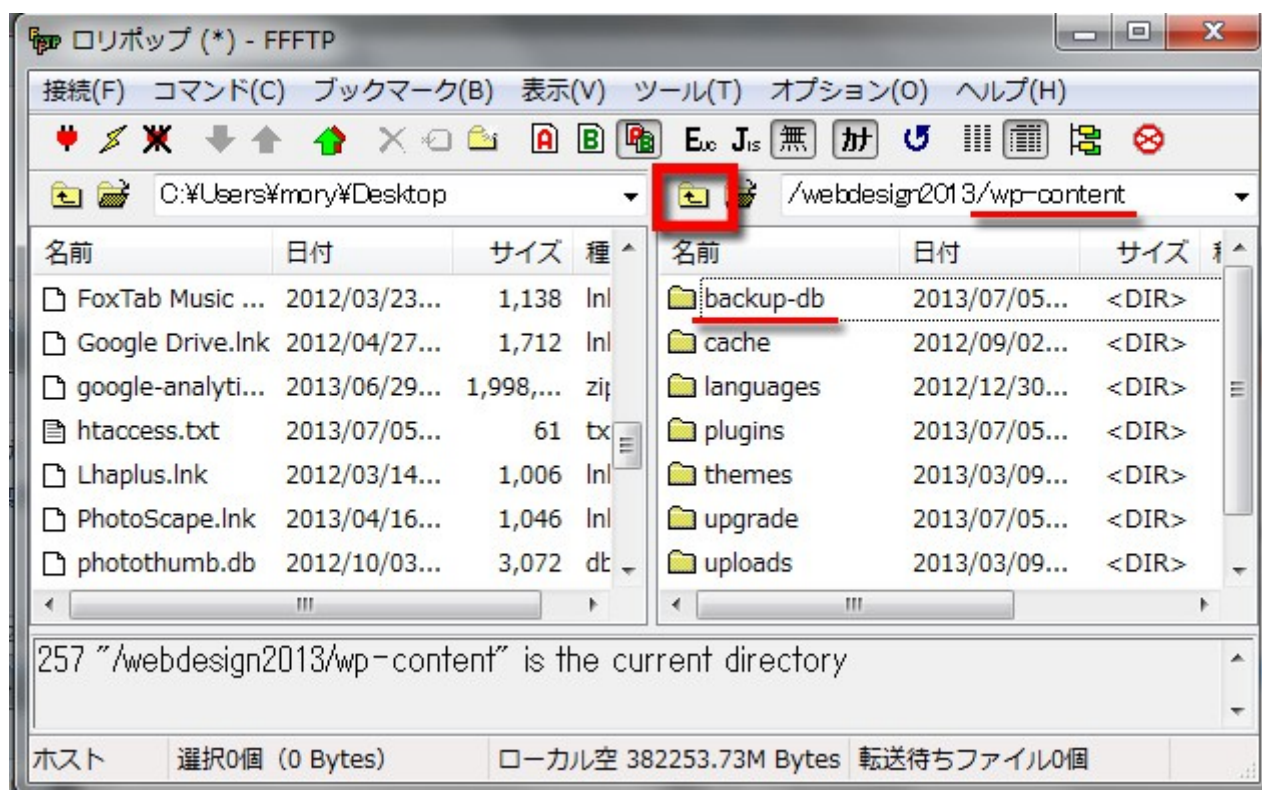


すると、この中に、「htaccess.txt」というファイルがあります。



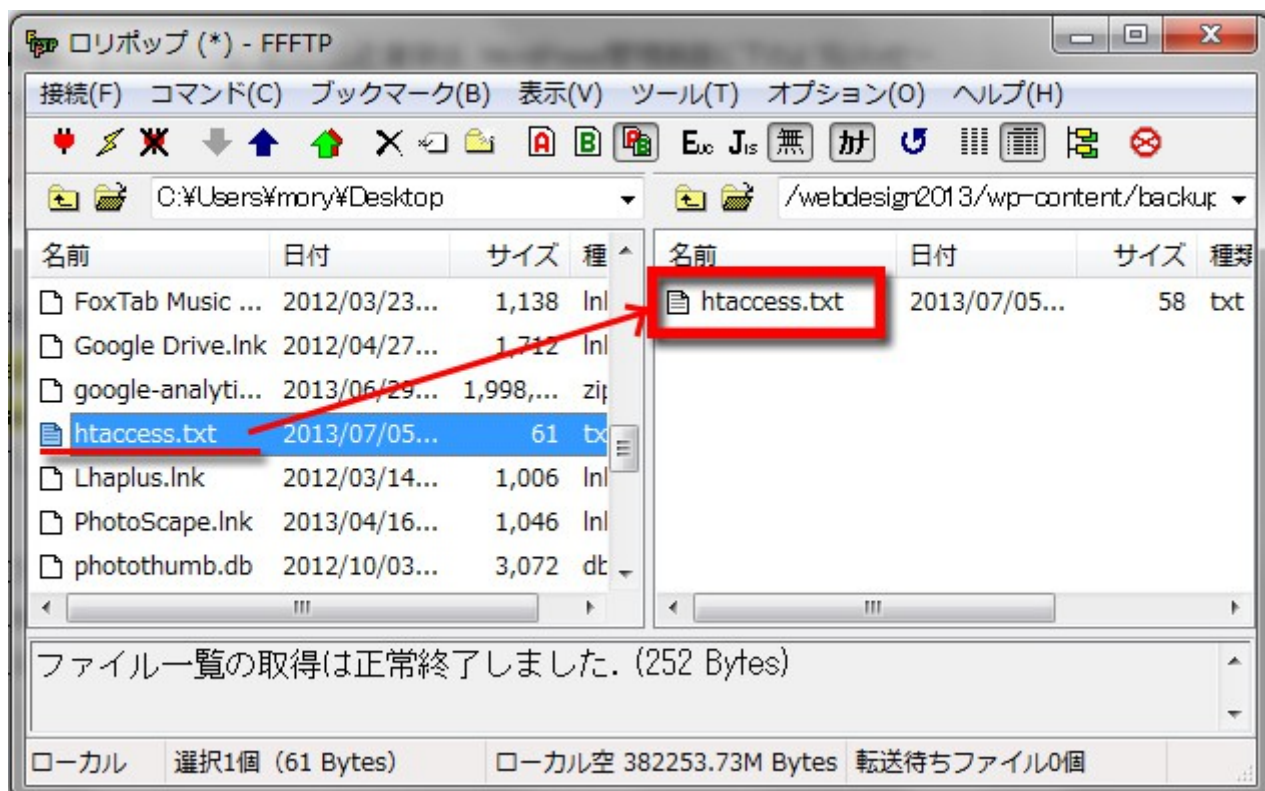
この「htaccess.txt」が、外部アクセスをさせない鍵の役目をする原型になります。
で、この「htaccess.txt」を、移動して加工する作業をしていきます。

まずは、図のように、一旦「htaccess.txt」ファイルを、
ぎゅぎゅーっと右の方に動かして、パソコンの中にデータを取り込みましょう。



今度は、図のように、上に戻るボタンを2回クリックし、最初に見た空っぽの「backup-db」があるところまで戻ります。プラグインのフォルダが同じ階層に見えますね。

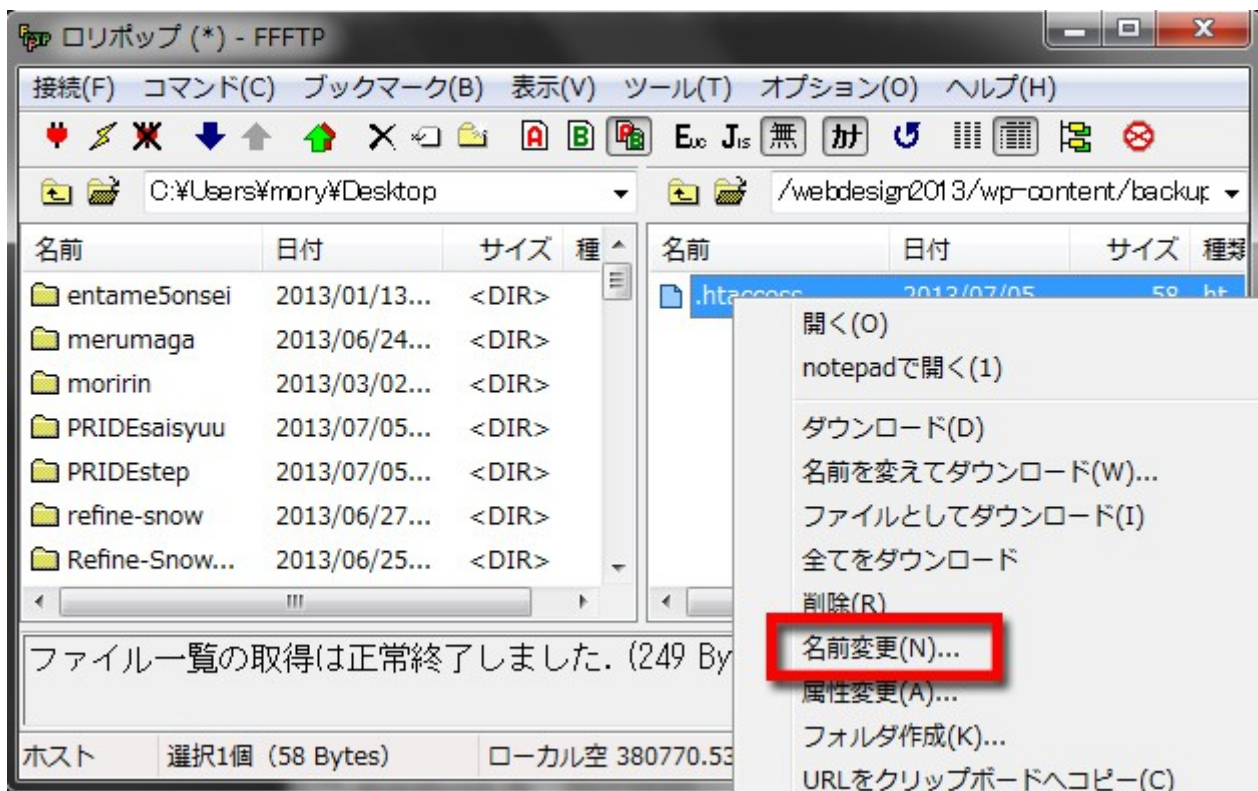
で、「backup-db」フォルダをクリックしましょう。空っぽのはずですので、ここに、さっきパソコンにデータを取り込んだ、「htaccess.txt」を移動してやります。



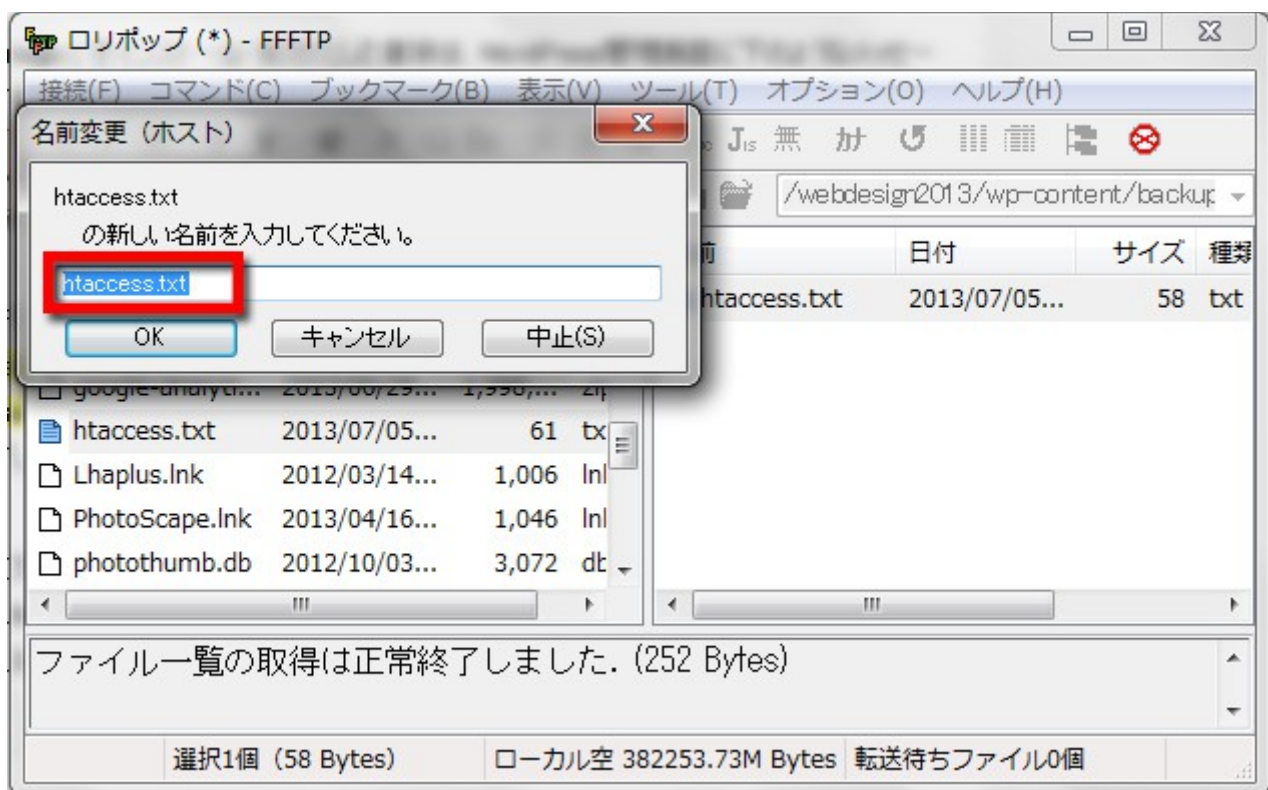
先ほどは右から左へぎゅぎゅーっと動かしましたが、
今度は左から右へぎゅぎゅーっと動かします。

今、「htaccess.txt」は外部アクセスをさせない鍵としては
まだ有効に作動しません。

この後で、鍵として働けるように、ファイルを加工します。
とはいっても、名前を変えるだけです。



このように、ファイルの上で右クリックし、「名前変更」をクリックします。



ここに、新しい名前を入れてやります。

新しい名前は、

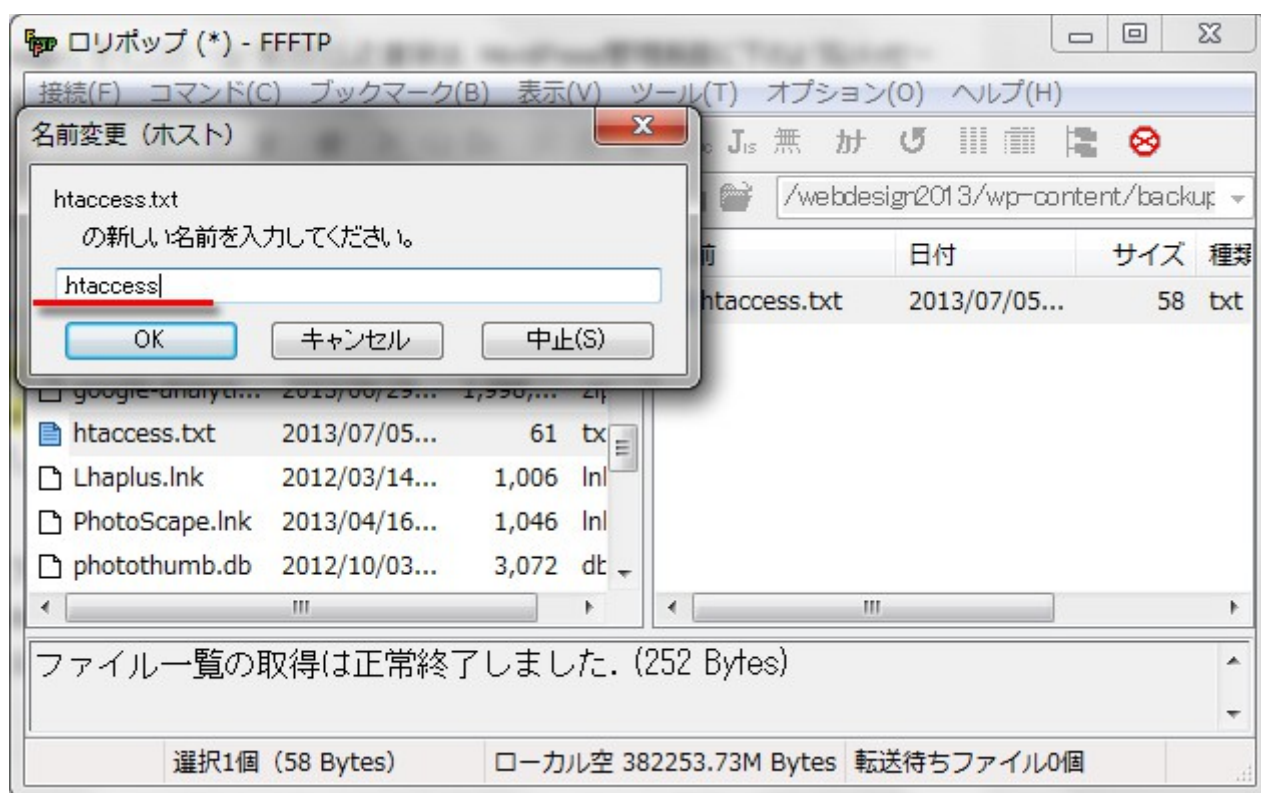
.htaccess

です。

「htaccess.txt」

の、うしろの点から以降、「.txt」を削除し、
冒頭のhの前に半角で「.」を打ちます。

この、「.」を忘れると、正しく機能しません。



正しく入力したら、「OK」を押しましょう。

WP Social Bookmarking Light

「WP Social Bookmarking Light」は、ブログの記事に自動的にソーシャルブックマークやSNSのボタンを設置できるプラグイン。

幅広くさまざまなサービスに対応しているので
もともとそういう機能のついていないプラグインを利用している人でも
ごく簡単にソーシャルボタンを設置できます。



まずは、「設定」⇒「WP Social Bookmarking Light」と進みます。



この赤枠の部分を設定しましょう。

とはいえ、別にこのままでもかまいませんが、

- Top・・・記事本文のすぐ上
- Bottom・・・記事本文のすぐ下
- Both・・・両方

と、位置を選べますからお好きな位置を選びましょう。

次いで、表示したいサービスを右から左に動かします。



動かしたら「変更を保存」をクリックしましょう。

このように表示されていれば完成です。

テスト

コメントをどうぞ



WP to Twitter

ワードプレスで記事を書くたびにツイッターに自動投稿してくれるプラグイン。

まずは、「設定」⇒「WP to Twitter」と進みます。



下図のように「Twitterアプリケーション登録ページ」をクリックします。

WP to Twitter 設定

Twitter requires authentication by OAuth. You will need to [update your settings](#) to complete install

Twitter と連携

WP to Twitter Set-up

Your server time: Sunday, 14-Jul-13 09:37:41 UTC Twitter's time: Sunday, 14-Jul-13 09:37:42 UTC If other, your server will not connect to Twitter.

Your server timezone (should be UTC,GMT,Europe/London or equivalent):UTC

1. このサイトをアプリケーションとして登録する [Twitter アプリケーション登録ページ](#)

- If you're not currently logged in to Twitter, log-in to the account you want associated with this application.
- Your Application's Name will show up after "via" in your twitter stream. Your application name should be unique.
- Your Application Description can be anything.

すると、ツイッターデベロッパーのログイン画面が立ち上がりますのでログインします。

このサイトは、通常のツイッターとは違い、
アプリケーションなどのためのサイトですが、
ログインは自分のツイッターアカウントで大丈夫です。

いくつもアカウントがある人は、
実際にワードプレスと連動させたいアカウントを使いましょう。

Sign in with your Twitter account

Please log in to access that page.

A screenshot of the Twitter login interface. It features a light gray background with a white login box. Inside the box, the 'Username:' label is followed by a red asterisk. Below it is a yellow text input field containing a blurred username. Under the input field, the text 'New to Twitter? Sign up' is displayed, with 'Sign up' as a blue link and an external link icon. Below a horizontal separator line, the 'Password:' label is followed by a red asterisk. Below it is a yellow password input field filled with dots. At the bottom of the login box is a blue 'Log in' button, which is highlighted by a red rectangular border in the original image.

ログインすると、下図のように入力していきましょう。

Application Details

Name: *
もりりんのブログ
Your application name. This is used to attribute the source of a tweet and in user-facing authorization screens.

Description: *
日記 ニュース
Your application description, which will be shown in user-facing authorization screens. Between 1 and 140 characters.

Website: *
http://infotrend.biz/testsite/
Your application's public homepage, where users can go to download, make use of source attribution for tweets created by your application and will be shown in user-facing authorization screens. (If you don't have a URL yet, just put a placeholder here but remember to change it later.)

Callback URL:
http://infotrend.biz/testsite/
Where should we return after successfully authenticating? For @Anywhere applications, only the oauth_callback URL on the request token step, regardless of the value given here.

「Name」は好きにつけてかまいませんので、自分で分かりやすくつけておいてください。

「Description」はブログの内容にまつわるキーワードを分かりやすく書きます。キーワードをいくつか書いておきましょう。

10文字以上になるようにしてください。

「Website」と「Callback URL:」はご自身のブログURLを記載します。記載したら、画面の下の方までスクロールします。

☒ Yes, I agree

By clicking the "I Agree" button, you acknowledge that you have read and understand th

CAPTCHA

This question is for testing whether you are a human visitor and to prevent automated s

205 vierath

205 vierath

Create your Twitter application

規約に同意する、を意味する「Yes,I agree」にチェックを入れ、
出てきた認証画面の数字と文字を入力します。
認証が見えづらいときには右のボタンで別の画像に変えることもできます。

入力したら「Create your Twitter application」をクリックしましょう。
すると、画面が切り替わります。

Home → My applications

もりりんのブログ

Details

Settings

OAuth tool

@Anywhere domains

Reset keys



日記 ニュース つぶやき

<http://infotrend.biz/testsite/>

図のように、「Settings」をクリックしましょう。

画面の中段に、このような記載があるので真ん中の「Read and Write」にチェックを入れます。

Application Icon



Change icon:

ファイルを選択 選択されていません

Maximum size of 700k. JPG, GIF, PNG.

Application Type

Access:

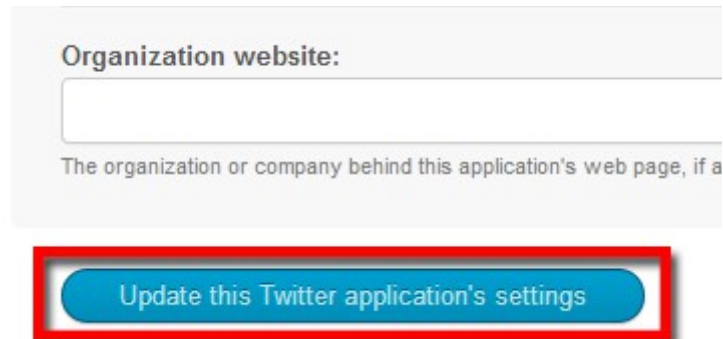
☐ Read only

☒ Read and Write

☐ Read, Write and Access direct messages

What type of access does your application need? Note: @Anywhere applications require
Find out more about our [Application Permission Model](#).

チェックを入れたら末尾にある「Update this Twitter application's settings」をクリックして設定を保存します。

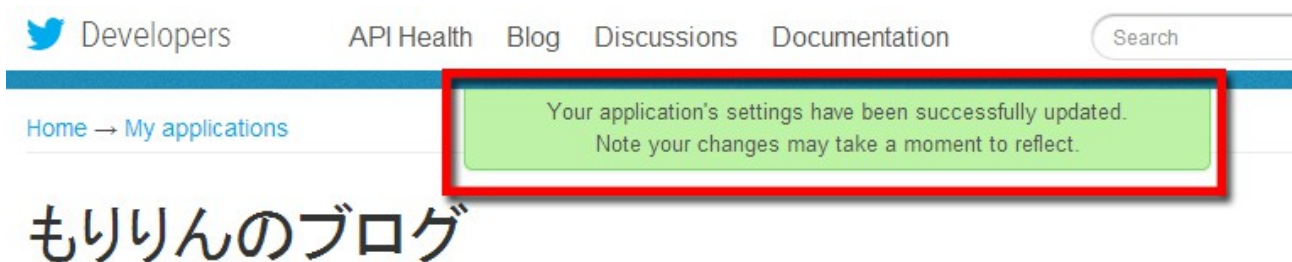


Organization website:

The organization or company behind this application's web page, if a

Update this Twitter application's settings

こんな表示が出ればひとまずOKです。



で、もう一回最初の画面に戻りますので「Details」をクリックします。



このページの最下部にこのようなボタンができています。

It looks like you haven't authorized this application for your token here, so you can start signing your requests right away.

すると、このように新しいキーが表示されます。

Use the access token string as your "oauth_token" and the access token secret as your "oauth_token_secret" not share your oauth_token_secret with anyone.

「設定」⇒「WP to Twitter」と進みます。

97

この赤枠の部分に、先ほどのツイッターアプリのサイトから必要な情報をコピーしていきます。

Developers

API Health

Blog

Discussions

Documentation

OAuth settings

Your application's OAuth settings. Keep the "Consumer secret" a secret. This key should never be human-readable.

Access level	Read and write About the application permission model
Consumer key	[REDACTED]
Consumer secret	[REDACTED]
Request token URL	https://api.twitter.com/oauth/request_token
Authorize URL	https://api.twitter.com/oauth/authorize
Access token URL	https://api.twitter.com/oauth/access_token
Callback URL	http://infotrend.biz/testsite/
Sign in with Twitter	No

Your access token

Use the access token string as your "oauth_token" and the access token secret as your "oauth_token_secret". Do not share your oauth_token_secret with anyone.

Access token	[REDACTED]
Access token secret	[REDACTED]
Access level	Read and write

この4つをそれぞれ対応する場所にコピーしたら、
ワードプレスの「Twitterと連携」をクリックしましょう。

これで、基本設定は終わりです。

WP-Cumulus

「WP-Cumulus」は、こんな感じのかっこいい3Dタグを設置できるプラグイン。
カーソルを当てたらぐるぐる回りますが、このページはPDFなのでまわりません^^;



日本語表示にも対応しており、文字色、回転スピードなど、
細かな設定もできます。

プラグイン自体はここまでの作業でインストール済みなのですが、
今はまだ日本語対応ではないので日本語化パッチを当てていきます。

このサイトにアクセスしてください。

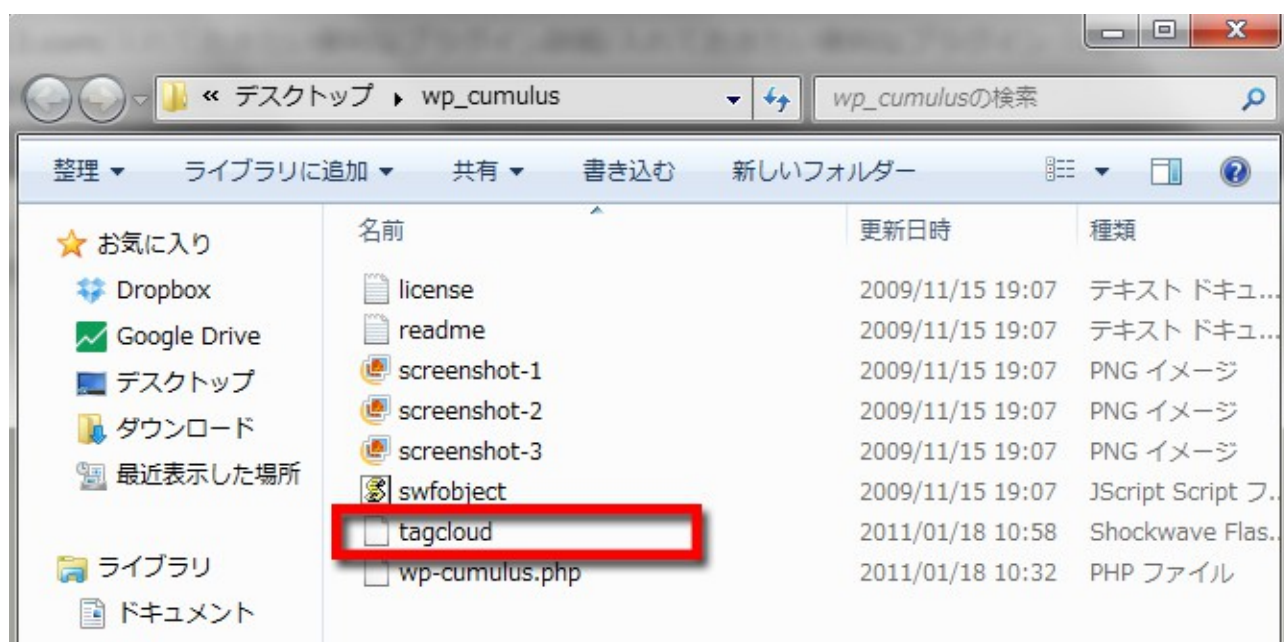
<http://www.joomler.net/download/131-wordpress/890-wordpress-wp-cumulus-49kb.html>

最下部にあるこのマークをクリックしてダウンロードします。

	<p>License : ---</p> <p>Type : ---</p> <p>Hits : 2801</p> <p>Size : 77,343 byte</p>	<h3>WP-Cumulus</h3> <p>ライセンスは、元ファイルに準じます。</p>
---	---	---

ダウンロードしたzipファイルは解凍しておきます。

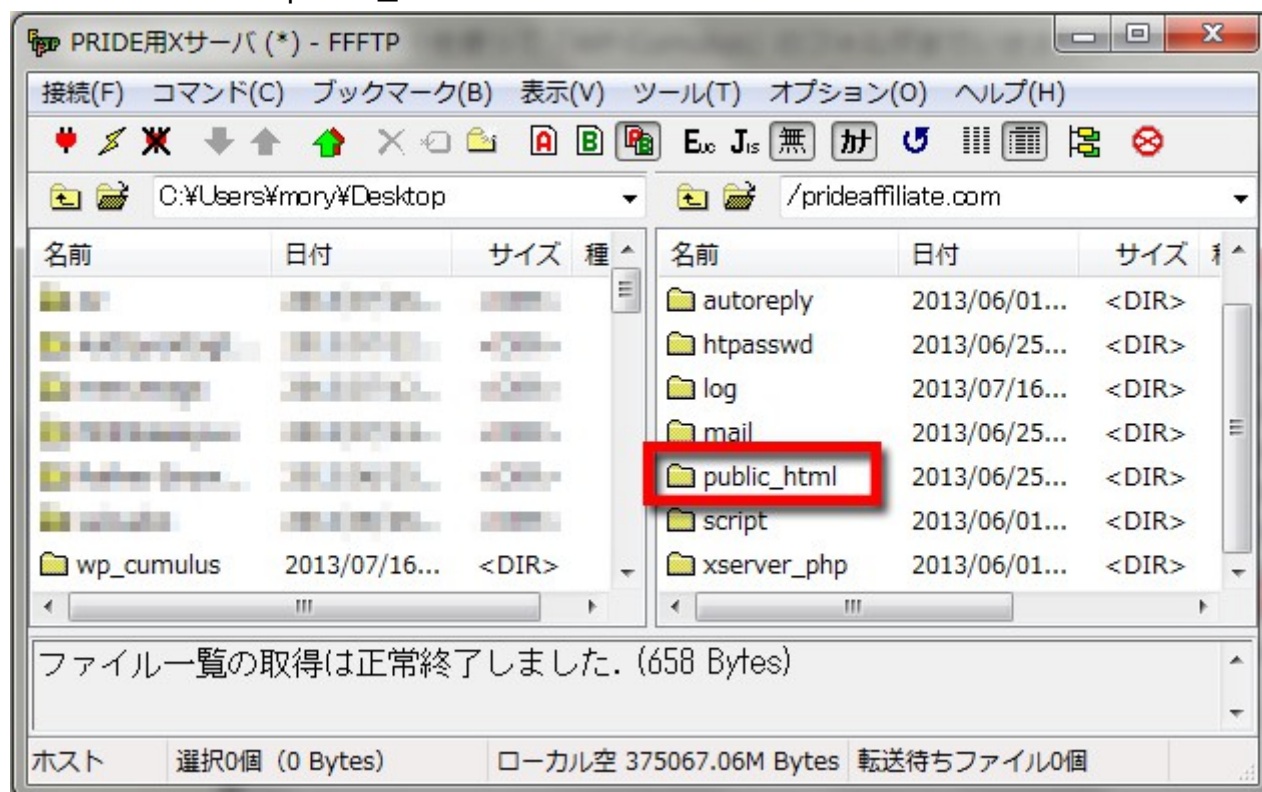
フォルダの中にはいろいろ入っていますが、使うのは1個だけです。



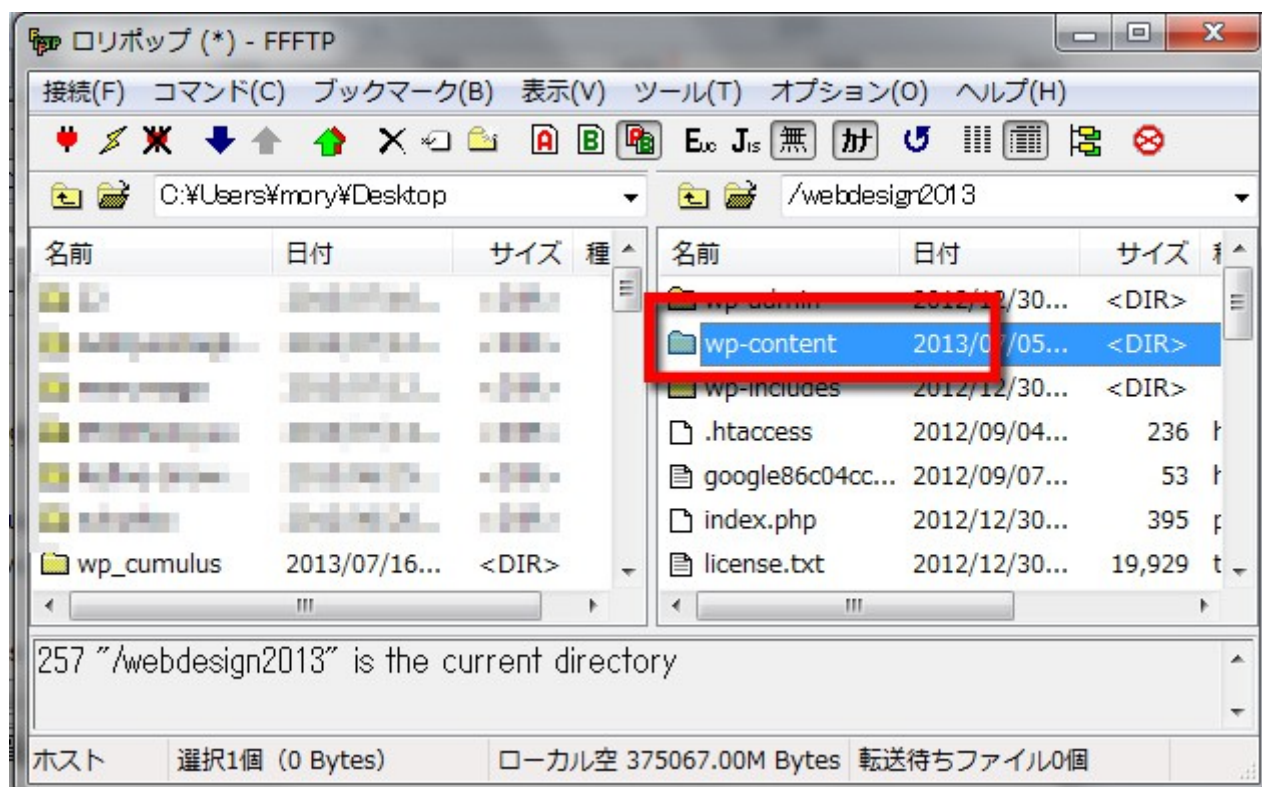
この「tagcloud.swf」というファイルを、FTPソフトを使ってアップロードします。

まずはFTPソフトでご自身のサーバーまで行きましょう。

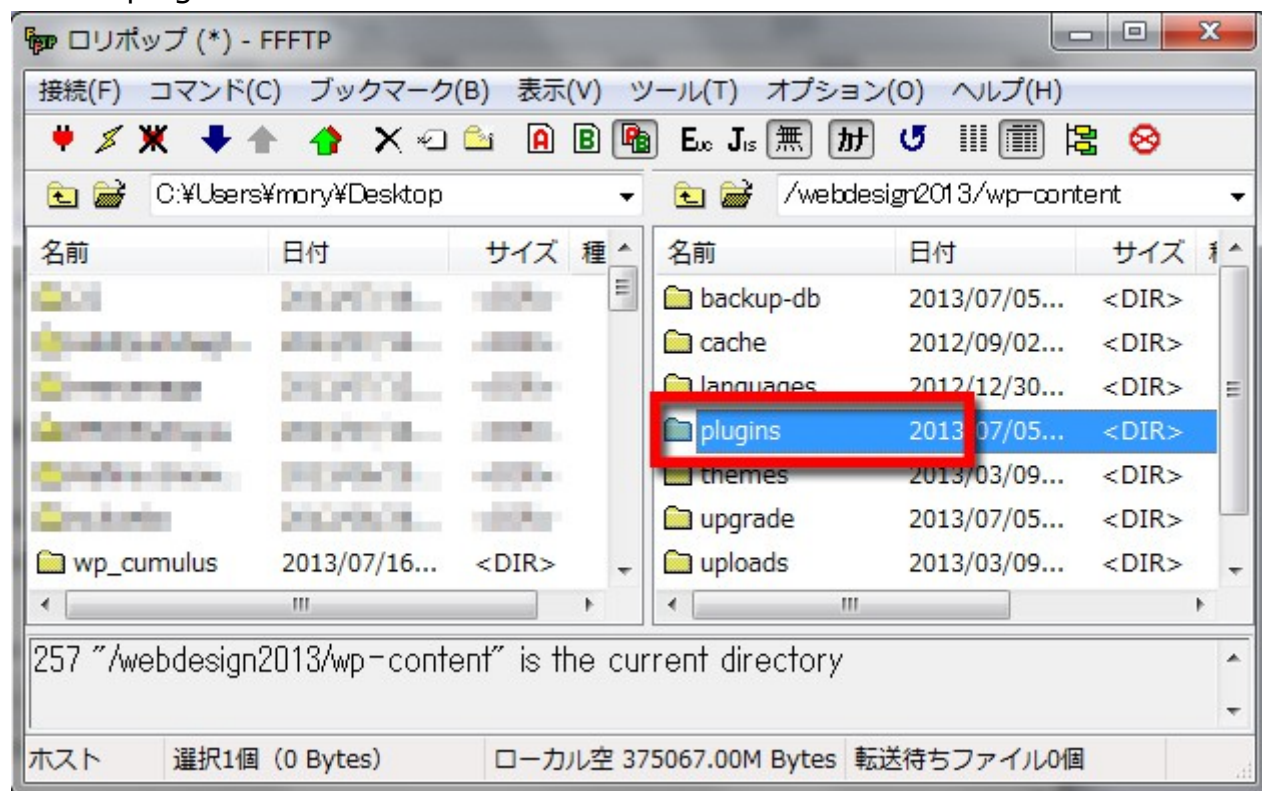
自分のドメインの「public_html」をクリックします。

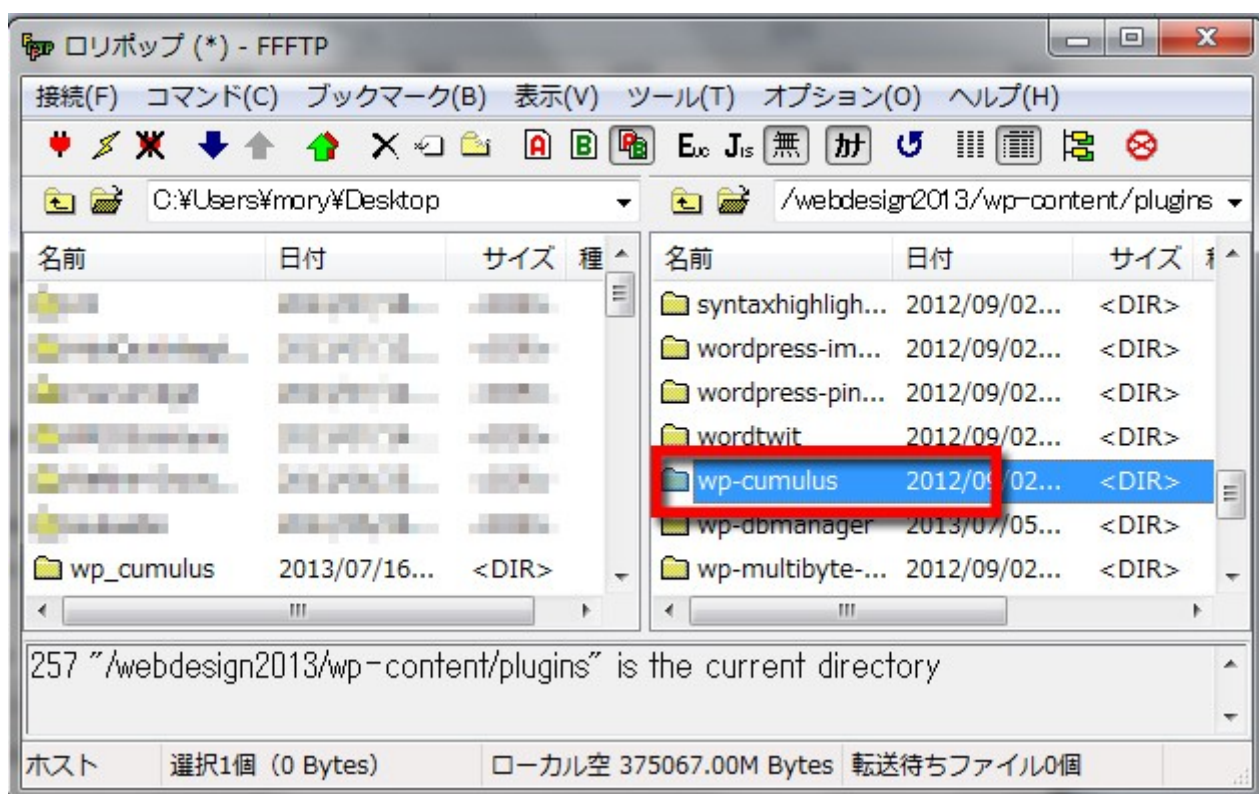


ついで、「wp-content」をクリックしましょう。

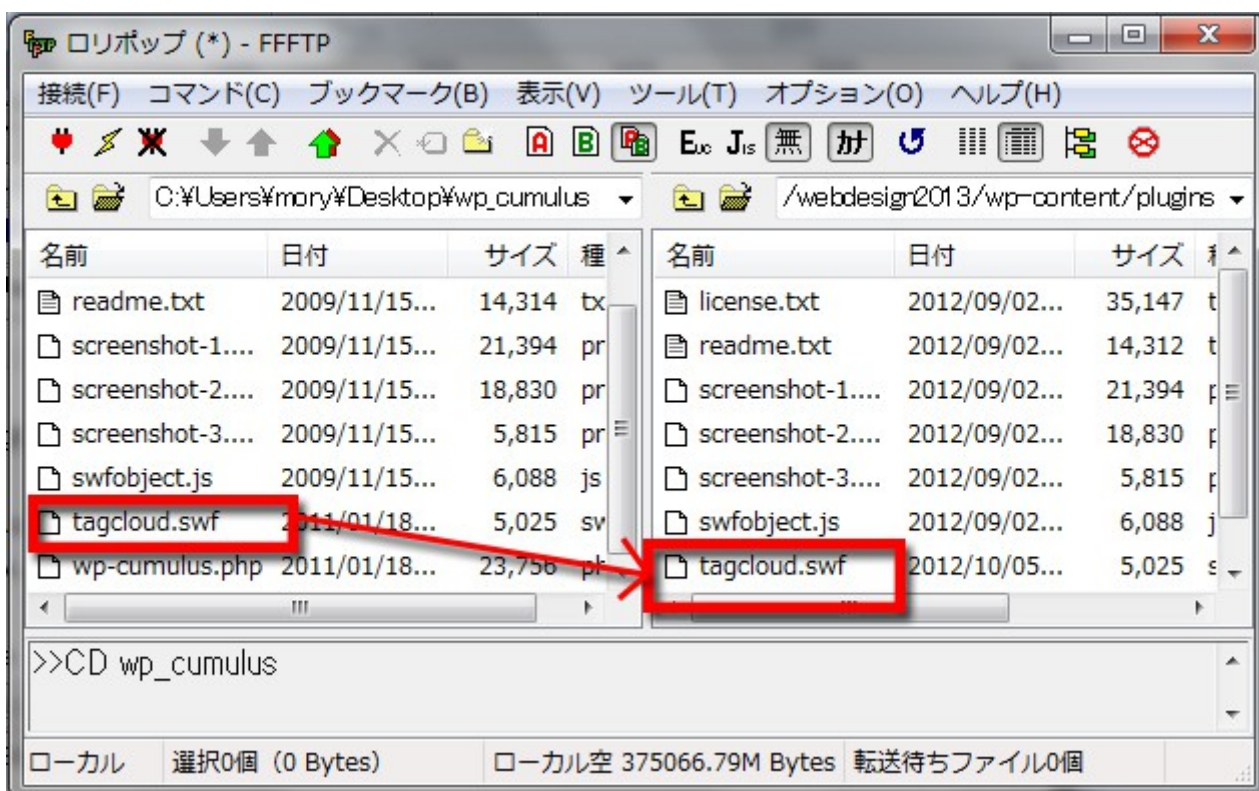


さらに「plugins」をクリックします。

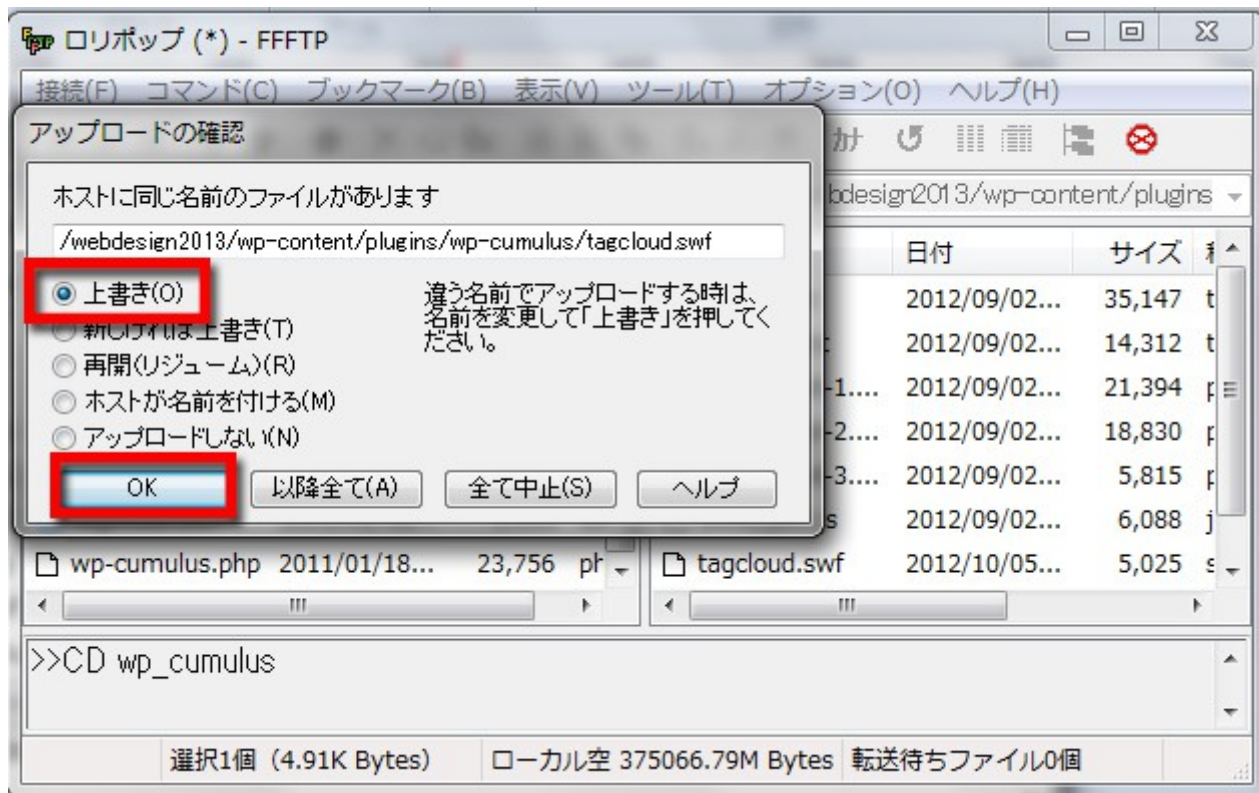




たくさんあるプラグインフォルダの中から「wp-cumulus」をクリックします。
ここに、先ほど解凍した「tagcloud.swf」ファイルをぎゅぎゅーっと動かして
アップロードします。

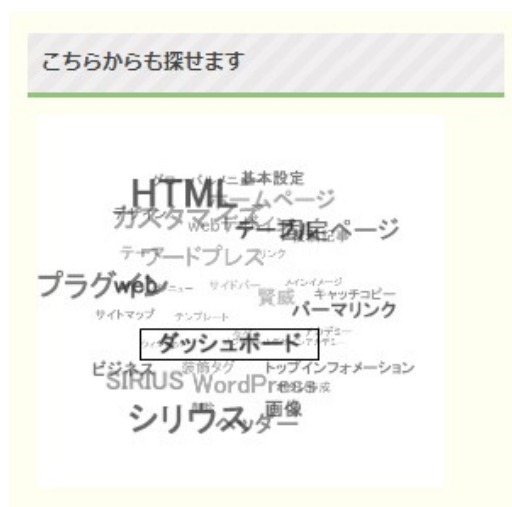


サーバーには、すでに、「tagcloud.swf」ファイルが存在します。
この「tagcloud.swf」はまだ日本語対応ではないので
新しい「tagcloud.swf」で上書きしてやりましょう。



これで、サーバーへのアップロードは完了です。
ワードプレスの管理画面に戻って設定していきましょう。

まずはサイドバーに設置する場合から。



ワードプレスの管理画面から「外観」⇒「ウィジェット」と進みます。
すでに、「wp-cumulus」というウィジェットができていますので
サイドバーの任意の位置にぎゅぎゅーっと動かしてください。



これで、少し待てばタグが表示され始めますので
それまでに細かい設定をしましょう。

WP-Cumulus

タイトル:

Width:
 横幅 (ピクセル)

Height:
 縦幅 (ピクセル)

Tag color:
 一番奥の文字色

Optional second color for gradient:
 中間の文字の色

Optional highlight color:
 一番手前の文字色

Background color:
 背景の色

☐ Background transparent 背景を透明にする

Speed:
 回転速度

☒ Distribute evenly on sphere 表示を球状にする

☒ Tags
☐ Categories タグかカテゴリーか
☐ Both

wp_tag_cloud parameters:

削除 | 閉じる 保存

おもにこのようになっています。

横幅や縦幅など、好みのサイズに変更したり、表示する文字色を手前や奥で変えられます。

また、タグからキーワードを拾って表示させるのか、それとも、タグではなくカテゴリーを表示させるのか、両方表示させるのかなども選べますので

記事数が少ないうちは両方を、記事数が増えてきたらタグだけにしたりカテゴリーだけにするなどしていきましょう。

◆ 終わりに

さて、ここまで、プラグインのインストールや詳細設定を見てきました。

最初にも書きましたが、ワードプレスのプラグインは、
有志が善意で提供しているものがほとんどです。

「こんな機能があったらいいと思って作ってみたから使ってね」と
それぞれが、個人レベルで提供しているものがほとんどなのです。

ですので、プラグインを提供してくれている人が、
「もう面倒だからやめます」と勝手にやめてしまうこともあります。

ダウンロード先のサーバーも、善意で提供してくれている人が契約している
レンタルサーバーであることがほとんどですから、
プラグインを配布している人が契約しているサーバーが、
うっかり契約切れになってしまったり、
なにか違う作業中にサイトデータが破損してアクセス不能になるケースもあります。

また、ワードプレス自体も、オープンソースと言って、
有志が日々、新しく開発しているので、ワードプレス自体もどんどん進化します。

プラグインの中には、ワードプレスの進化についていけずに
古くなって使えなくなってしまうものも出てきます。

そんなときには慌てないで、

「似たような機能を持つプラグインが他にないかな」と探してみましょう。

例えば、「WordPress ツイッター プラグイン」などで検索すれば、あちこちでいろんなプラグインを紹介しているサイトが見つかります。

WordPressは、このように、プラグインを上手に活用することで、無限のカスタマイズができるのが大きな魅力です。

「こんな機能があったらいいな」というものが、毎日のように、世界のどこかで開発されて配布されていますし、その逆に、配布が終わってしまうケースもあります。

もう少し、WordPressに慣れてきたら、いろんなプラグインを探して試してみてくださいね。

ただし、何度も言いますが、プラグインは個人がめいめい、好きに開発して配布しているものがほとんどですから、中には、プラグイン同士でけんかをしてしまうケースもあります。

一度にたくさん導入しすぎると、どれとどれがけんかをしているのか分からなくなってしまうので、新しいプラグインを試すときには、1個ずつ、導入して様子を見てください。

※ただし、このマニュアルに記載したプラグインは、けんかをしないで作動することを確認しているので安心してくださいね。